

福岡県野生獣肉処理講習会

イノシシ等の代表的な 疾病について

Two horizontal bars, one dark blue and one light blue, extending across the width of the slide.

福岡県食肉衛生検査所

1. 野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方
2. とさつ・解体前に見つかる異常
3. 解体中に見つかる臓器の異常
4. イノシシ等の代表的な病気
5. まとめ

1. 野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方
2. とさつ・解体前に見つかる異常
3. 解体中に見つかる臓器の異常
4. イノシシ等の代表的な病気
5. まとめ

野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方

① 原則として**内臓は食べない**

⇒野生動物は清浄な環境で飼育された牛・豚等とは異なる

特に糞便からの
汚染に注意!!

② 内臓を取り出す際、臓器は傷付けない

③ 肉眼的病変がある個体は食用にしない

⇒病気を持っている可能性がある

④ 器材等からの汚染に注意

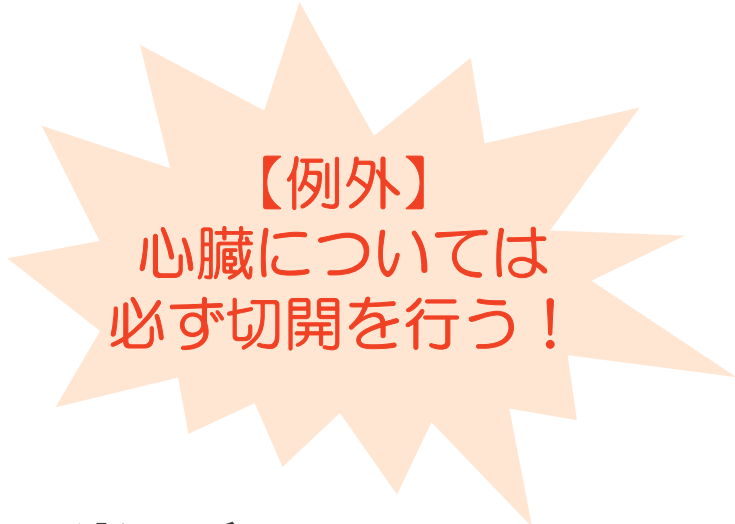
⑤ **生食は厳禁**

⇒肉眼的病変がなくても病気を持っている可能性がある

野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方

廃棄の判断について <内臓廃棄の判断>

- ① 可能な限り内臓は廃棄することが望ましい
⇒肉眼的に異常が認められない場合も、
寄生虫感染が認められているため
- ② 内臓病変部の部分切除、
切開等を行わない
⇒微生物による汚染を拡大する可能性
- ③ 内臓摘出時、内臓に肉眼的異常が認め
られた場合、その内臓は全部廃棄とする



【例外】
心臓については
必ず切開を行う！

野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方

廃棄の判断について <全部廃棄の判断>

- ① リンパ節の腫脹、腹水・胸水の貯留及び腫瘍等の異常所見が認められた場合
- ② 筋肉内に腫瘍がある場合
⇒筋肉のみに限られる腫瘍か、全身性の腫瘍かの区別を肉眼的に判断することが困難なため

講義内容

1. 野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方
2. とさつ・解体前に見つかる異常
3. 解体中に見つかる臓器の異常
4. イノシシ等の代表的な病気
5. まとめ

と殺・解体前に見つかる異常

◎福岡県野生鳥獣食肉衛生管理ガイドライン

確 認 項 目			確認結果
と殺前確認	高熱を呈していないか		ある・ない・不明
	腰が萎えている、旋回する等行動が異常でないか		ある・ない・不明
	歩き方や立ち方が異常でないか		ある・ない・不明
	異常な鼻漏・鼻汁、流涎、発咳は著しくないか		ある・ない・不明
	著しい脱毛はないか		ある・ない・不明
	元気がなく弱っていないか		ある・ない・不明
	顔面(鼻部)その他に奇形はないか		ある・ない・不明
	口腔、口唇、舌、乳房、蹄等に水疱やびらん、潰瘍等を多数形成していないか		ある・ない・不明
	著しい下痢はないか		ある・ない・不明
	皮下に高度の化膿巣又は膿瘍が多く形成していないか(3カ所以上)		ある・ない・不明
	ダニ等の寄生が著しくないか		ある・ない・不明
	大きな外傷は見られないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】
解体前確認	体表に紫斑、うっ血、チアノーゼ等著しい変色部分はないか		ある・ない・不明
	著しい脱毛はないか		ある・ない・不明
	著しい消瘦はないか		ある・ない・不明
	顔面(鼻部)その他に奇形はないか		ある・ない・不明
	口腔、口唇、舌、乳房、蹄等に水疱やびらん、潰瘍等を多数形成していないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

著しい脱毛のあるもの(疥癬)



顔面その他に奇形のあるもの



奇形



萎縮性鼻炎(通称「鼻曲り病」)

口腔、口唇、舌、鼻、乳房、蹄の水疱やびらん、潰瘍



下痢の著しいもの



皮下に3カ所以上の膿瘍があるもの



著しい削瘦のあるもの



講義内容

1. 野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方
2. とさつ・解体前に見つかる異常
- 3. 解体中に見つかる臓器の異常**
4. イノシシ等の代表的な病気
5. まとめ

解体中に見つかる臓器の異常

◎福岡県野生鳥獣食肉衛生管理ガイドライン

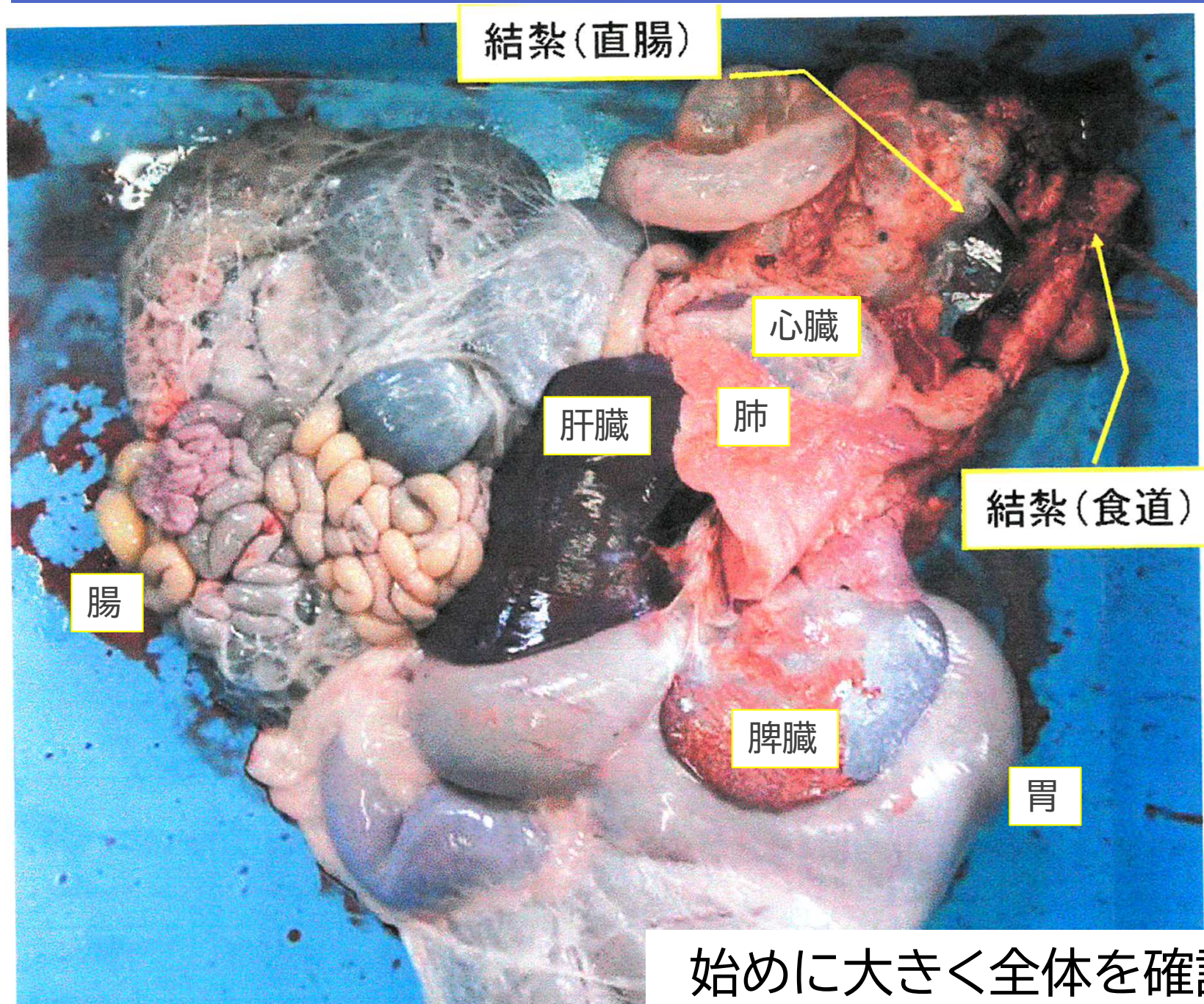
内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

異常を知るにはまず正常から

《正常な内臓の特徴》

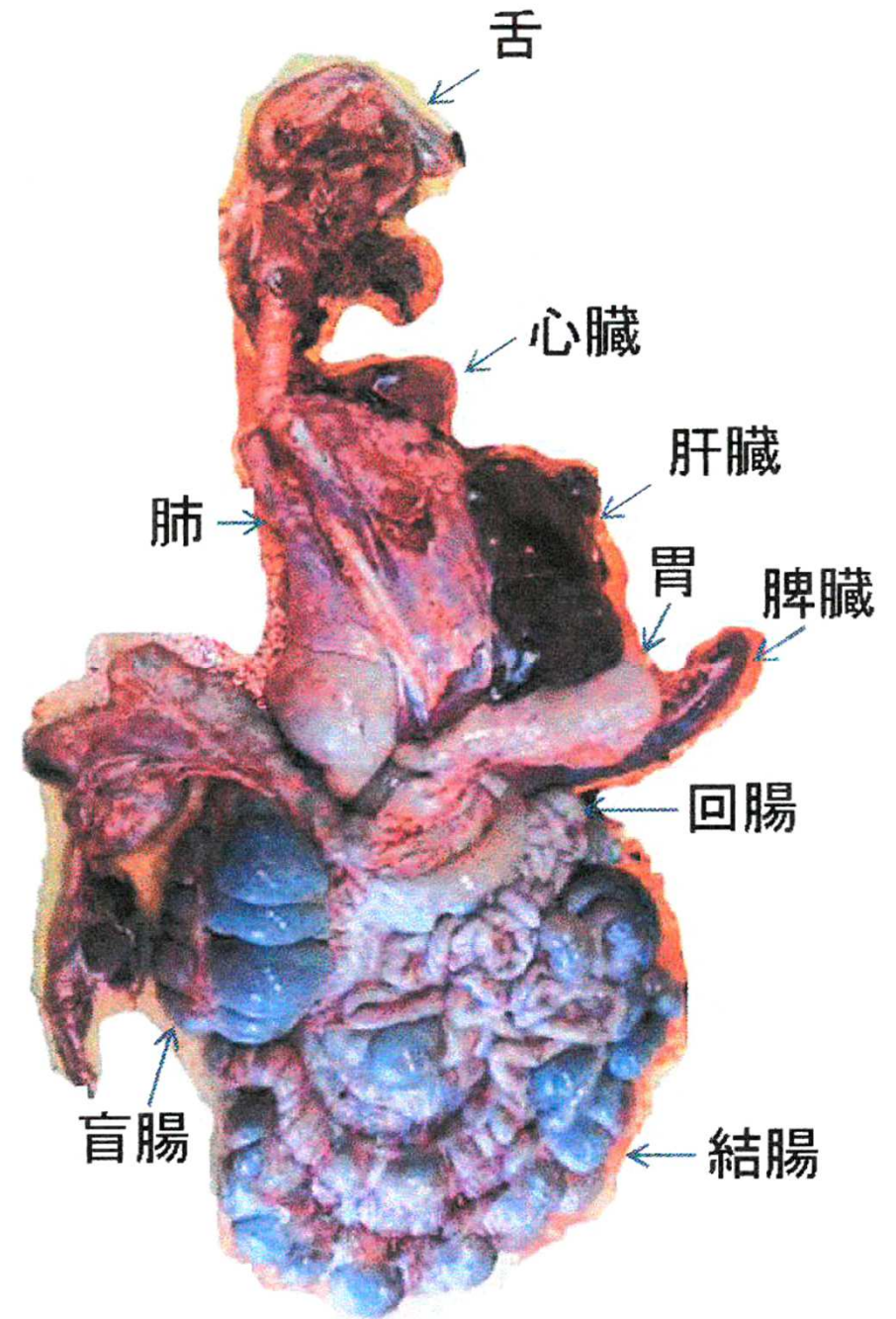
- ① 表面は滑らかで光沢がある
- ② 表面の色は均一である
- ③ 適度な弾力がある

シカの内臓



イノシシの内臓

- ・表面が滑らかであるか
- ・色が均一であるか
- ・適度な弾力があるか



内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

心臓について

【確認すべき事項】

- ① 表面が滑らかであること
外側に繊維のようなもの(線維素)が付着し、
ザラザラした質感でないこと
- ② 色に異常がないこと
- ③ 形、大きさに異常がないこと
- ④ 弁にイボ状の物が無いこと
- ⑤ 心筋に白色の結節がないこと
粟粒から小豆くらいの大きさ



心臓検査では
必ず切開を行う

【異常】 心外膜炎、心内膜炎、心外膜炎 など

切開手順

肺

心嚢膜

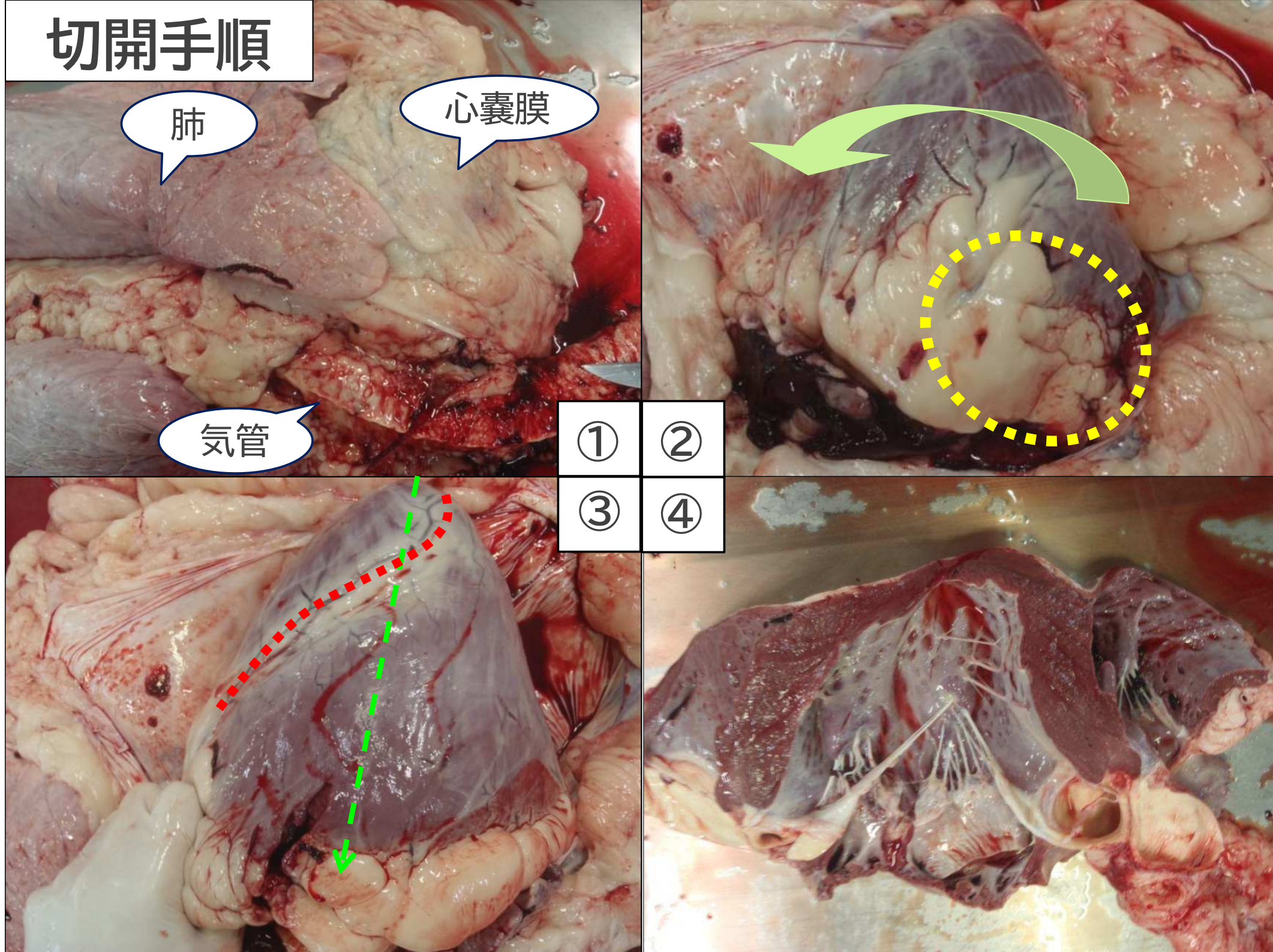
気管

①

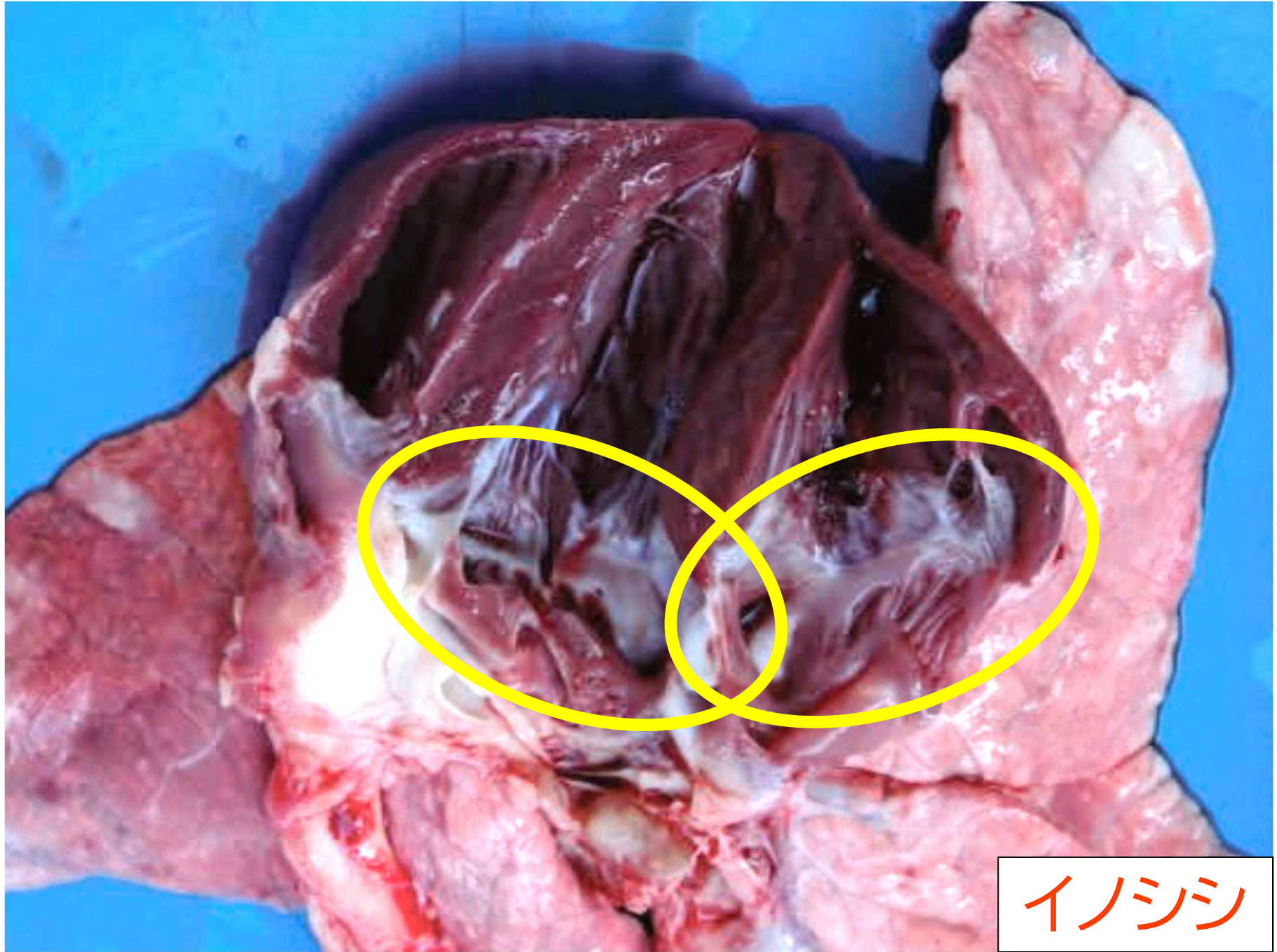
②

③

④

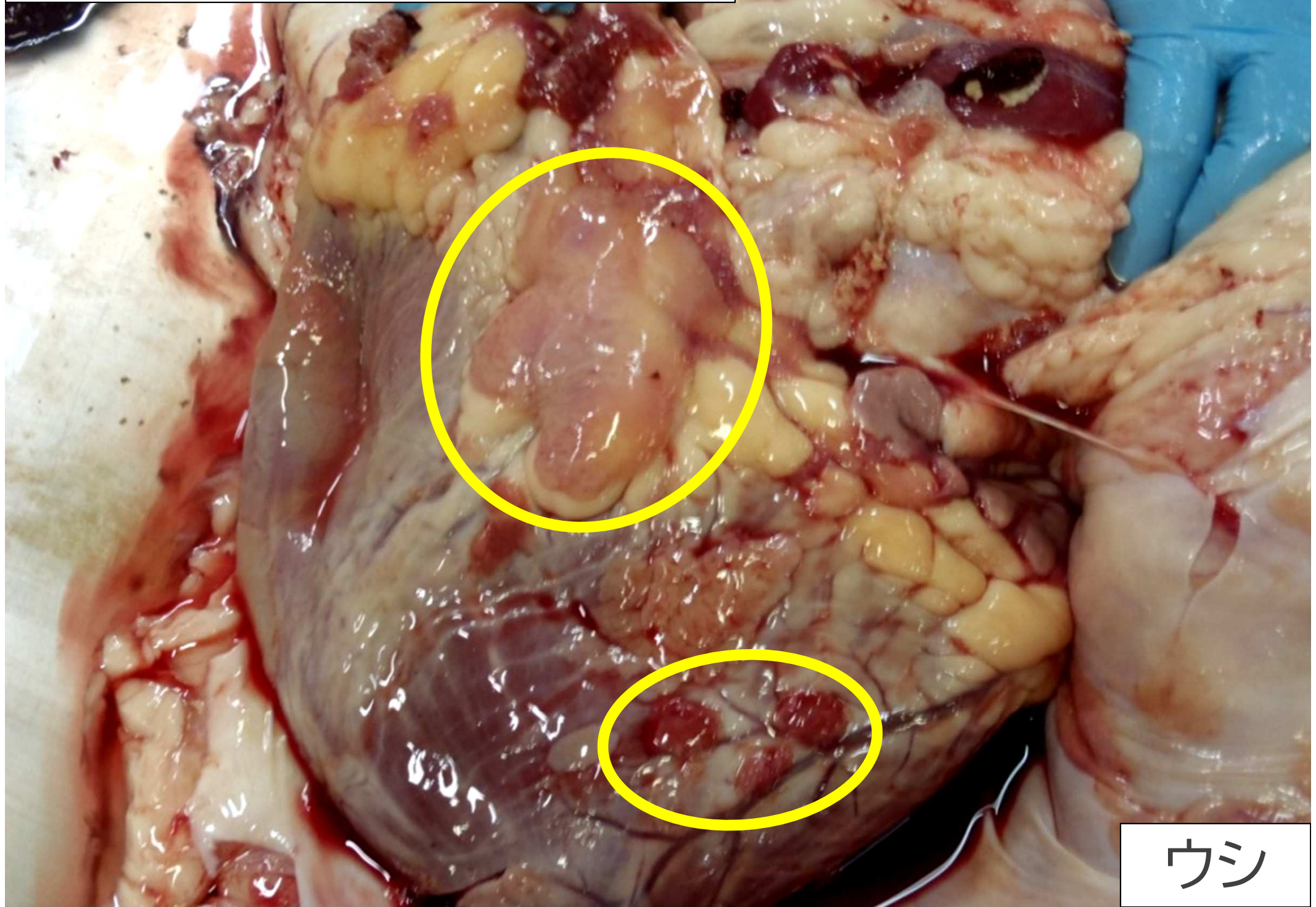


正常な心臓



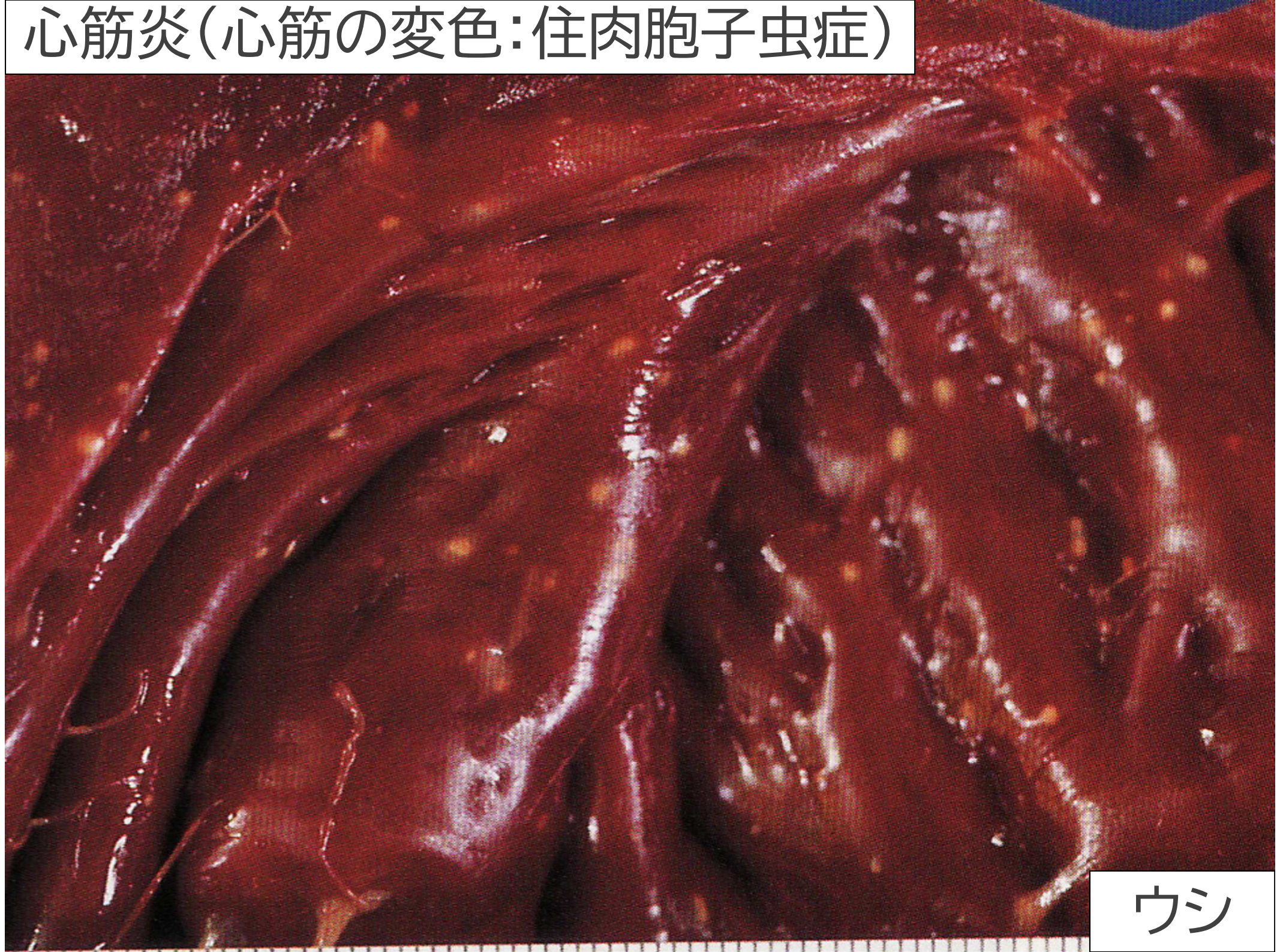
イノシシ

心外膜炎(心臓表面の炎症)



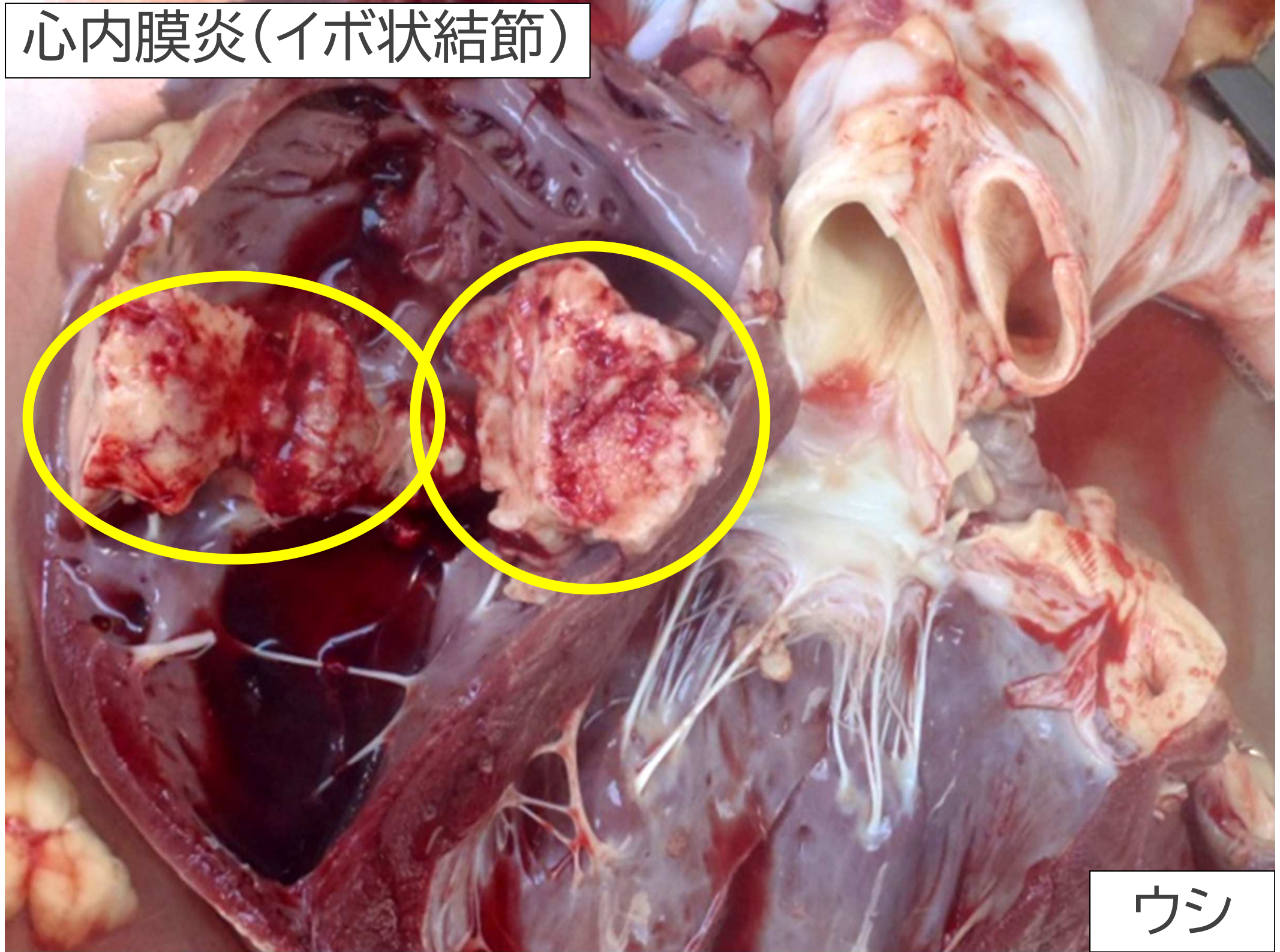
ウシ

心筋炎(心筋の変色:住肉胞子虫症)

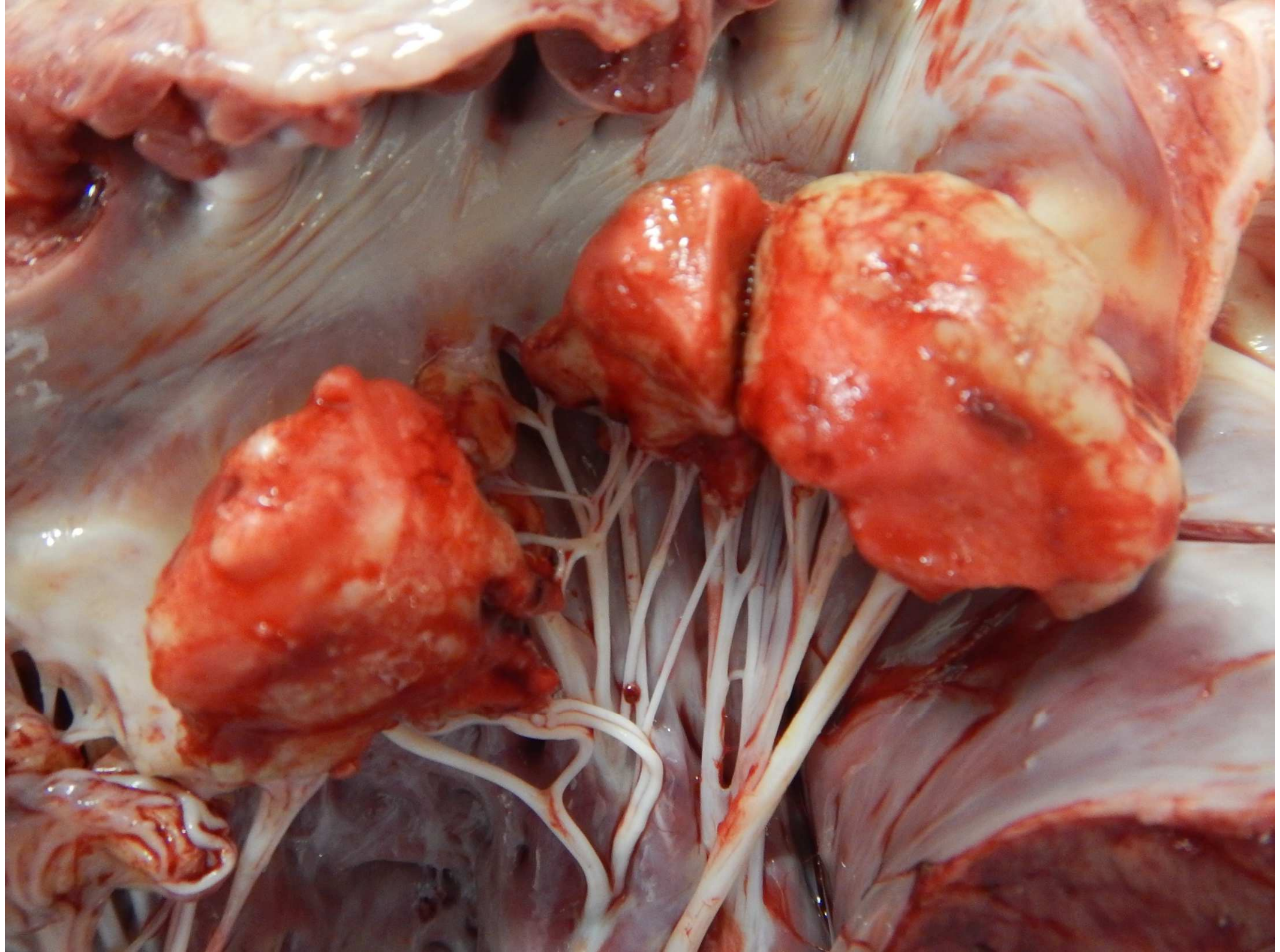


ウシ

心内膜炎(イボ状結節)



ウシ



内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
判定結果	適・不適	【備考】	

肺について

【確認すべき事項】

- ① **表面が滑らかであること**
外側に線維素が付着していないこと
腫瘍(膿瘍、腫瘍など)がないこと
- ② **色に異常がないこと**
出血していないこと
- ③ **形、大きさに異常がないこと**
肺気腫(肺に空気をたくさん含んでいる状態)
肺水腫(肺に水分が溜まった状態)
になっていないこと

【異常】 重度の肺炎、寄生虫や真菌の感染、硬結等

正常な肺

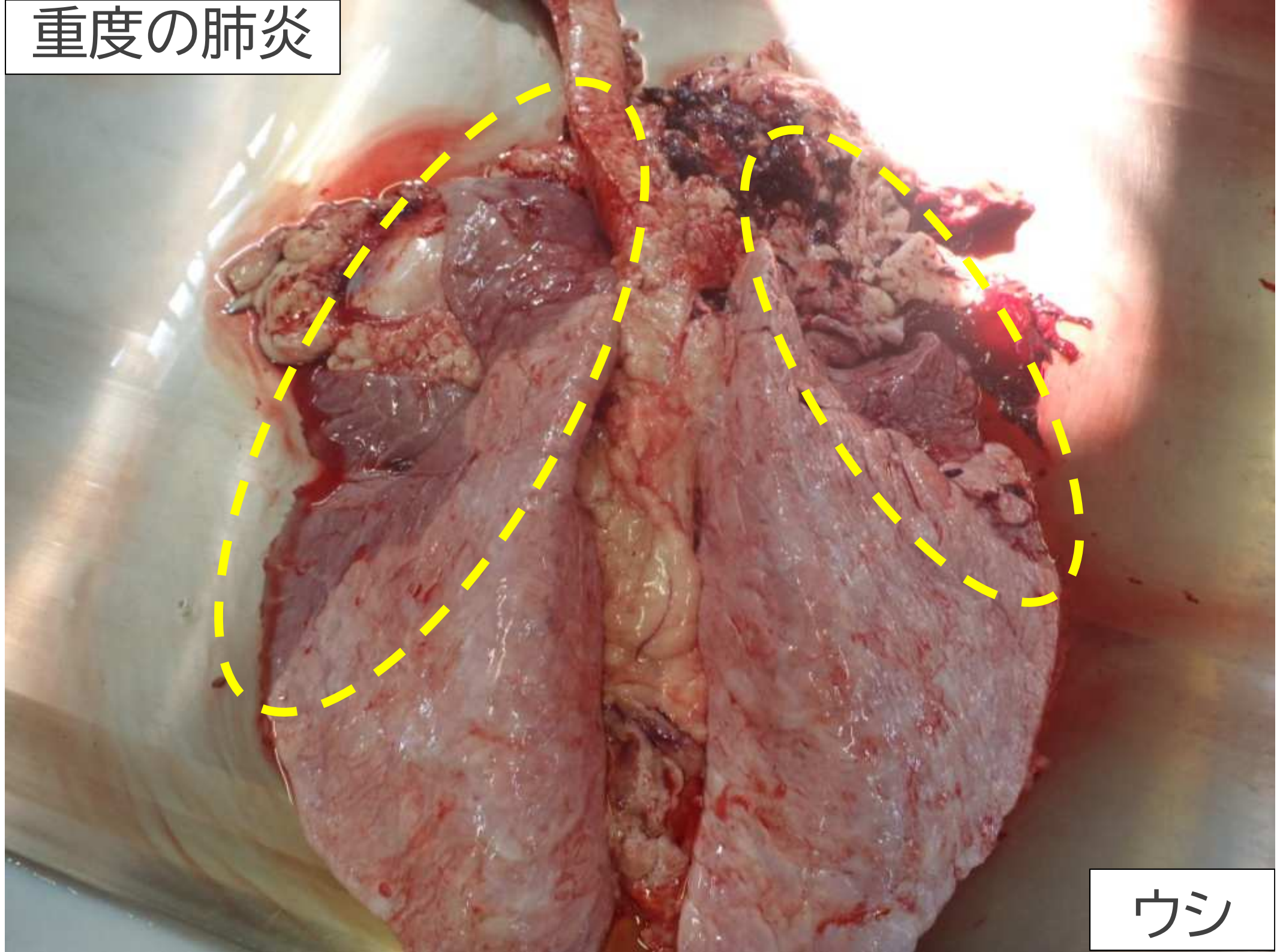


イノシシ



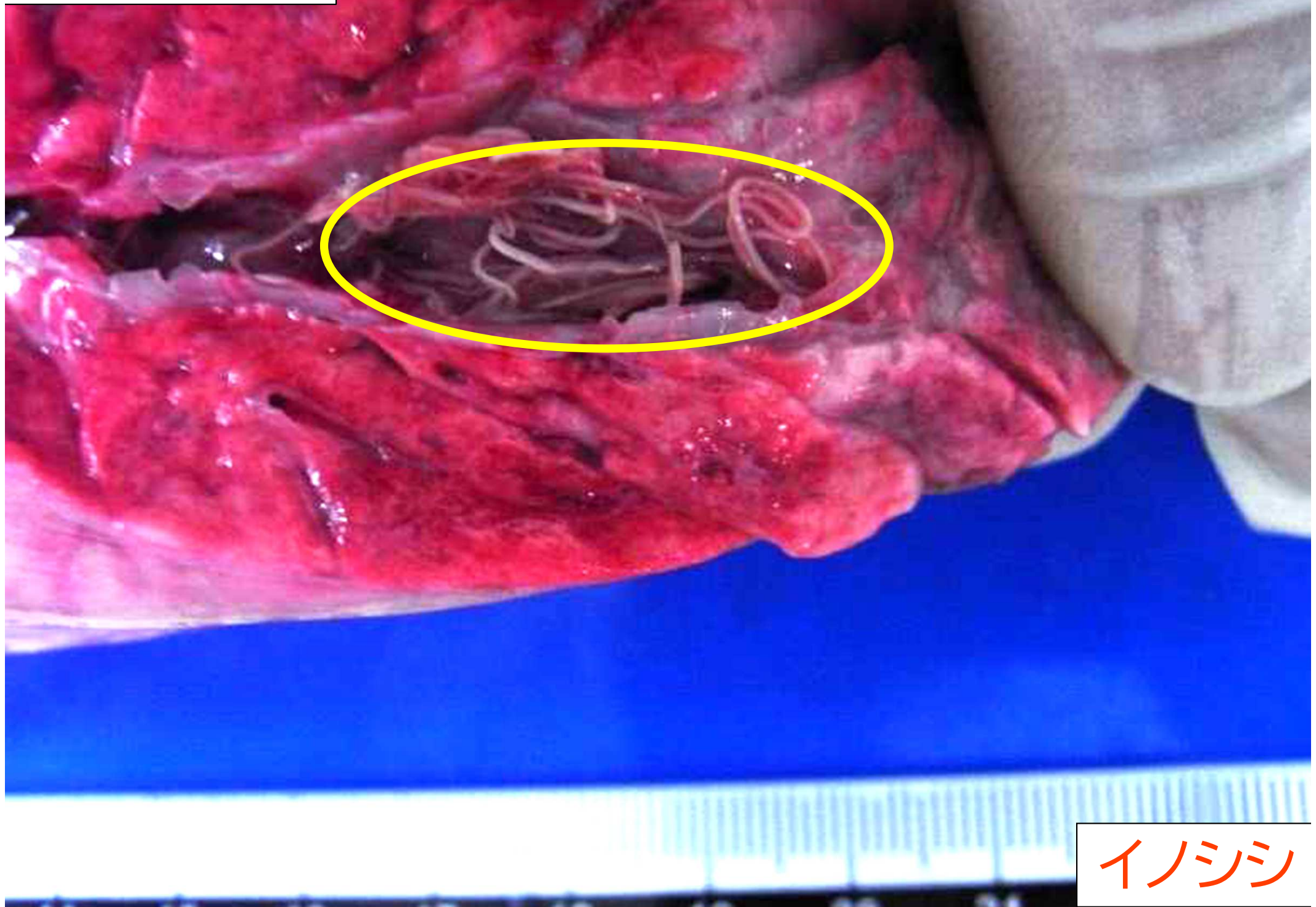
ウシ

重度の肺炎



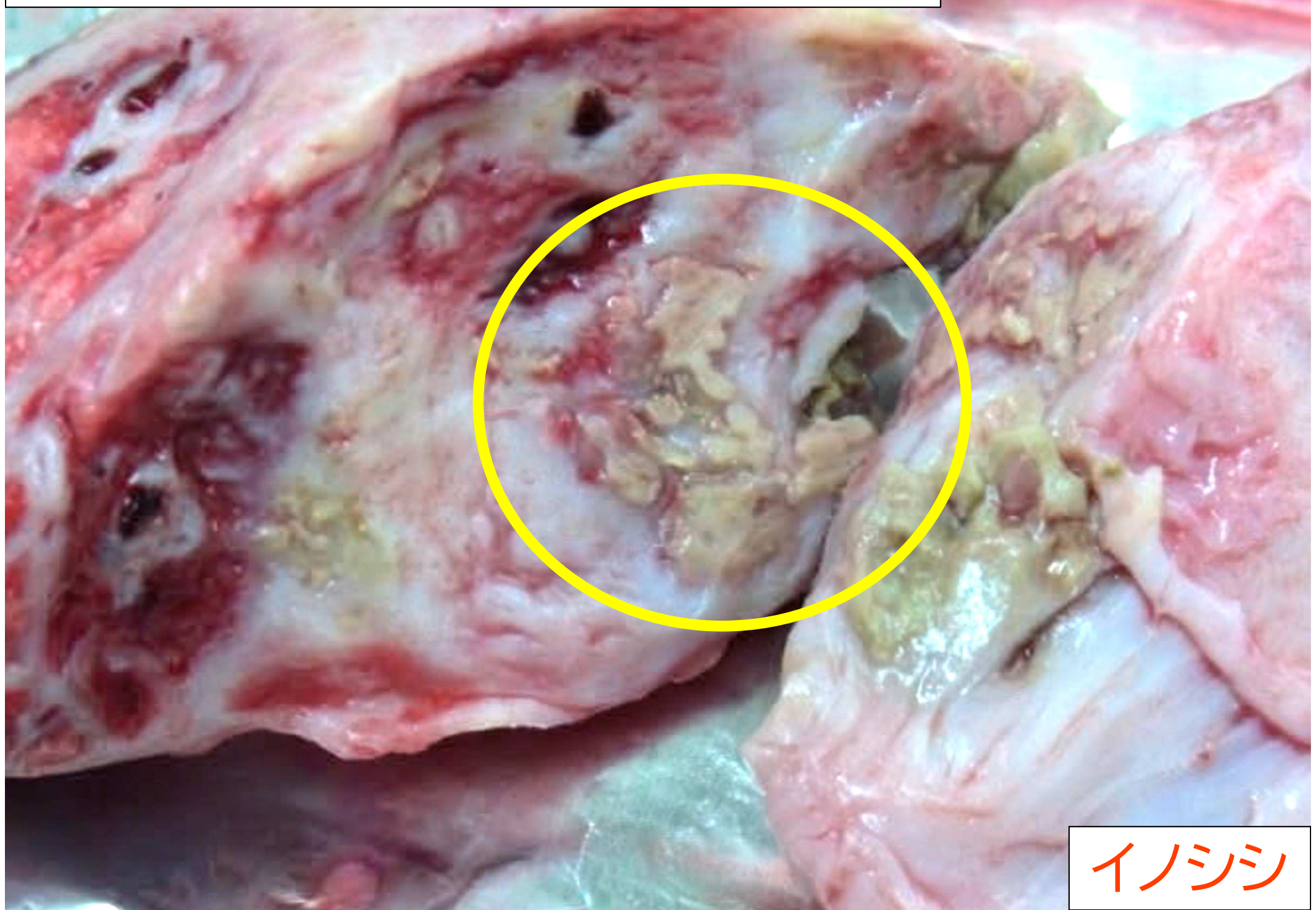
ウシ

寄生虫感染



イノシシ

巣状の変色部(壊死巣:真菌感染症)



イノシシ

内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
判定結果	適・不適	【備考】	

肝臓について

【確認すべき事項】

- ① **表面が滑らかであること**
外側に線維素が付着していないこと、のう胞がないこと、
腫瘍(膿瘍、腫瘍など)がないこと、白色に盛り上がった管状の
結節がないこと(寄生虫による病変)
- ② **色に異常がないこと**
出血していないこと、白色の病変がないこと、
黄色や暗赤色などの正常と異なる色ではないこと
- ③ **形、大きさに異常がないこと**
硬かったり軟らかかったりしないこと

【異常】 うっ血、出血、寄生虫などの感染、肝膿瘍など

正常な肝臓

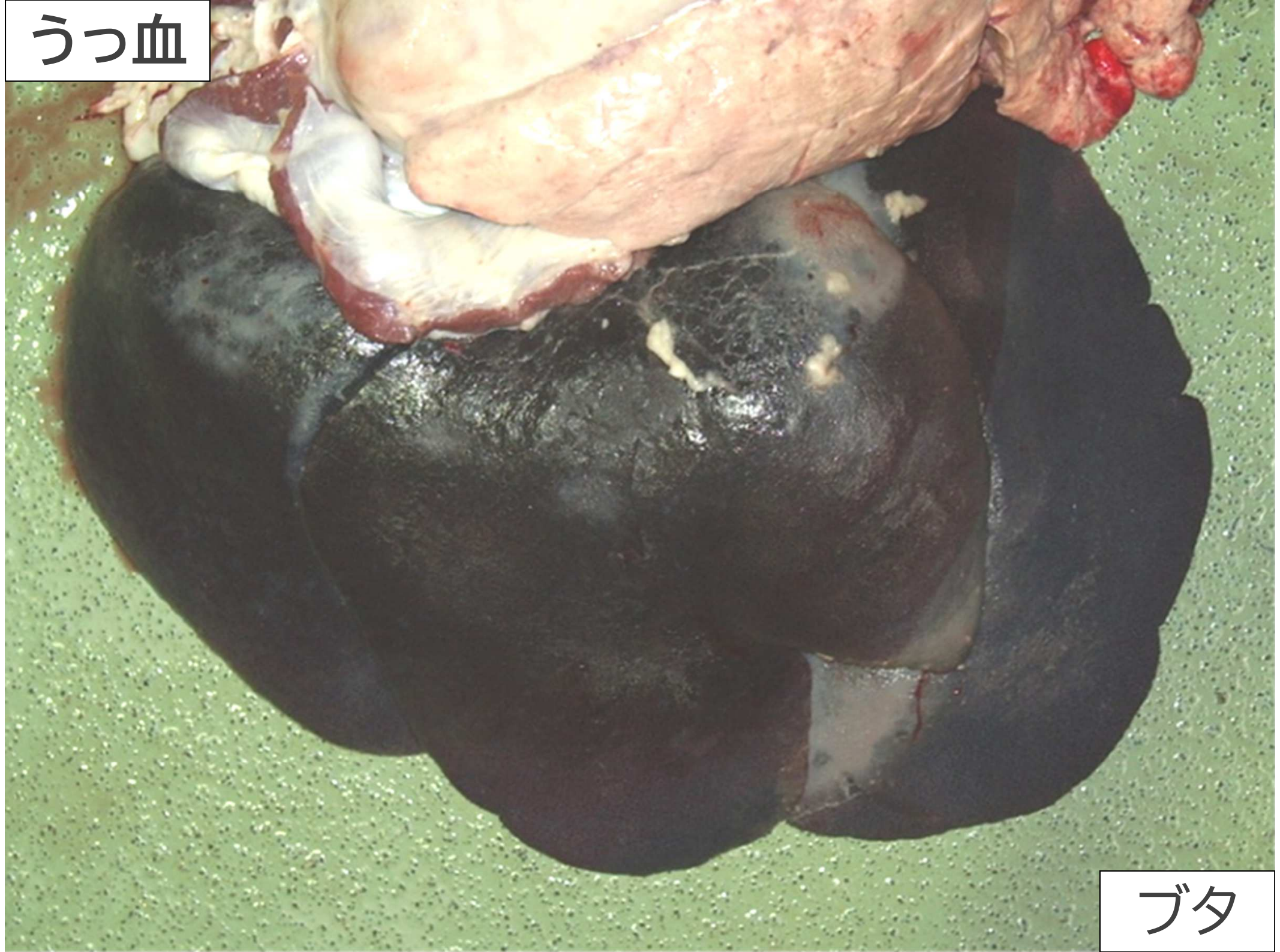


ウシ



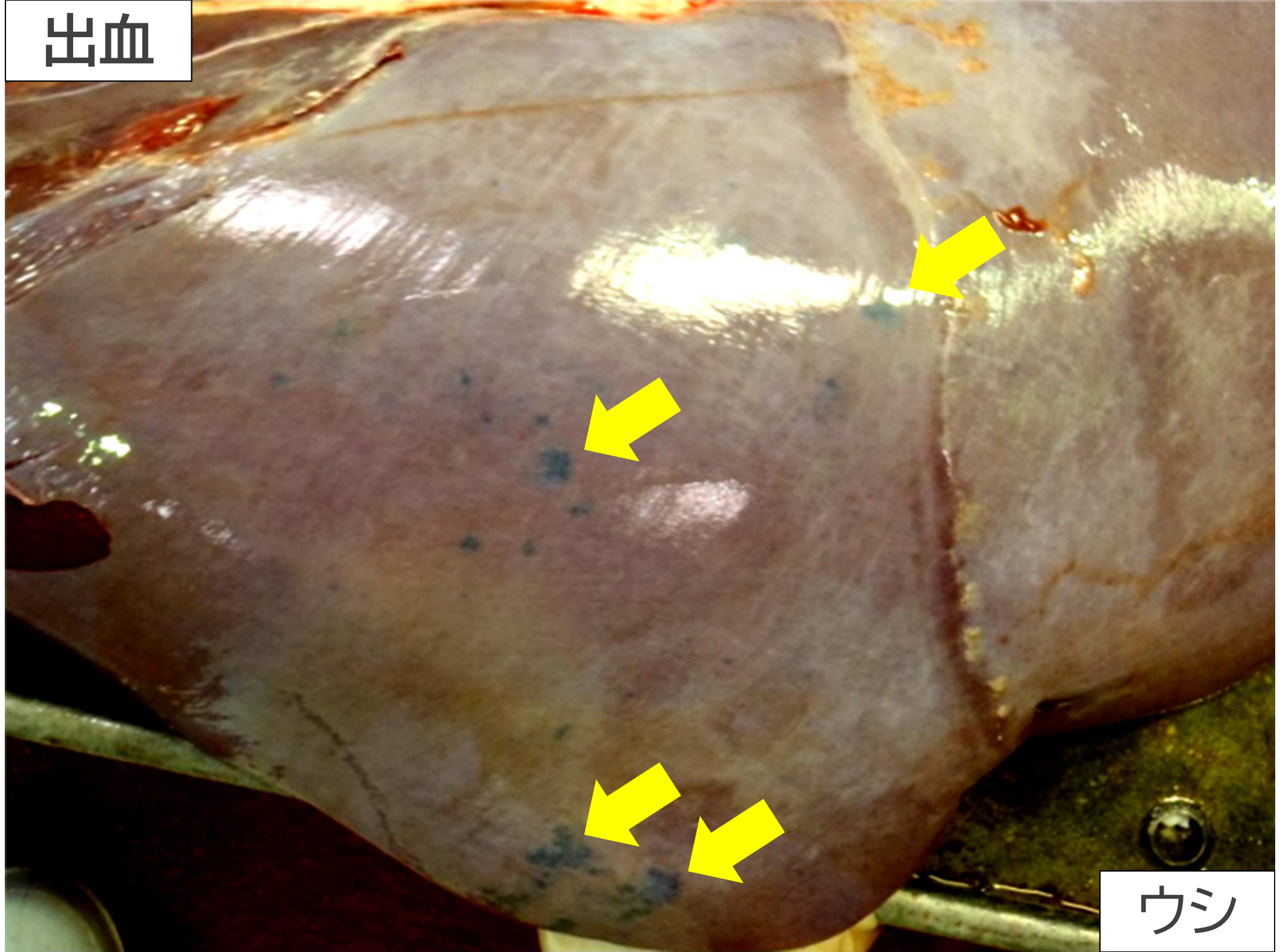
イノシシ

うっ血



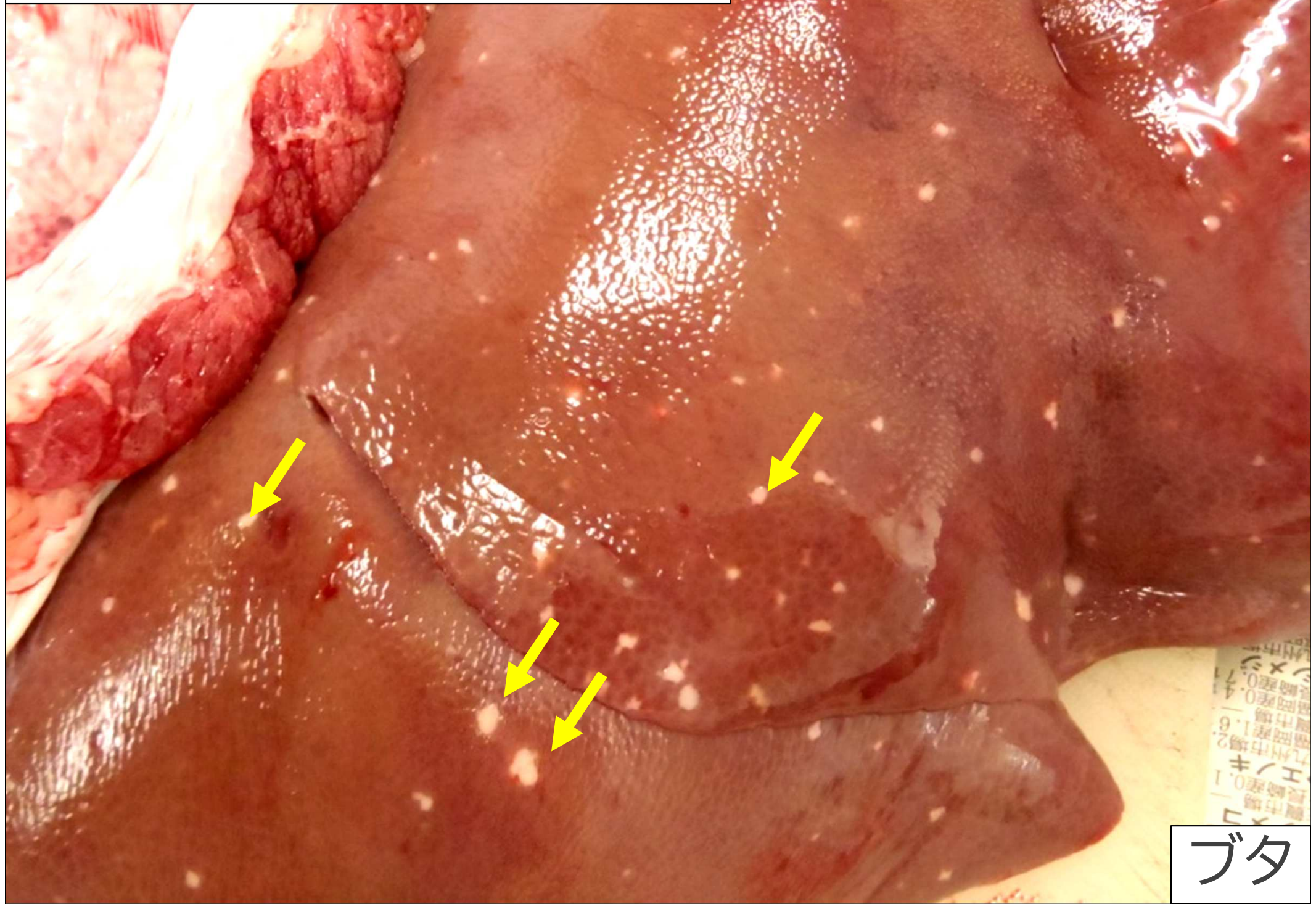
ブタ

出血



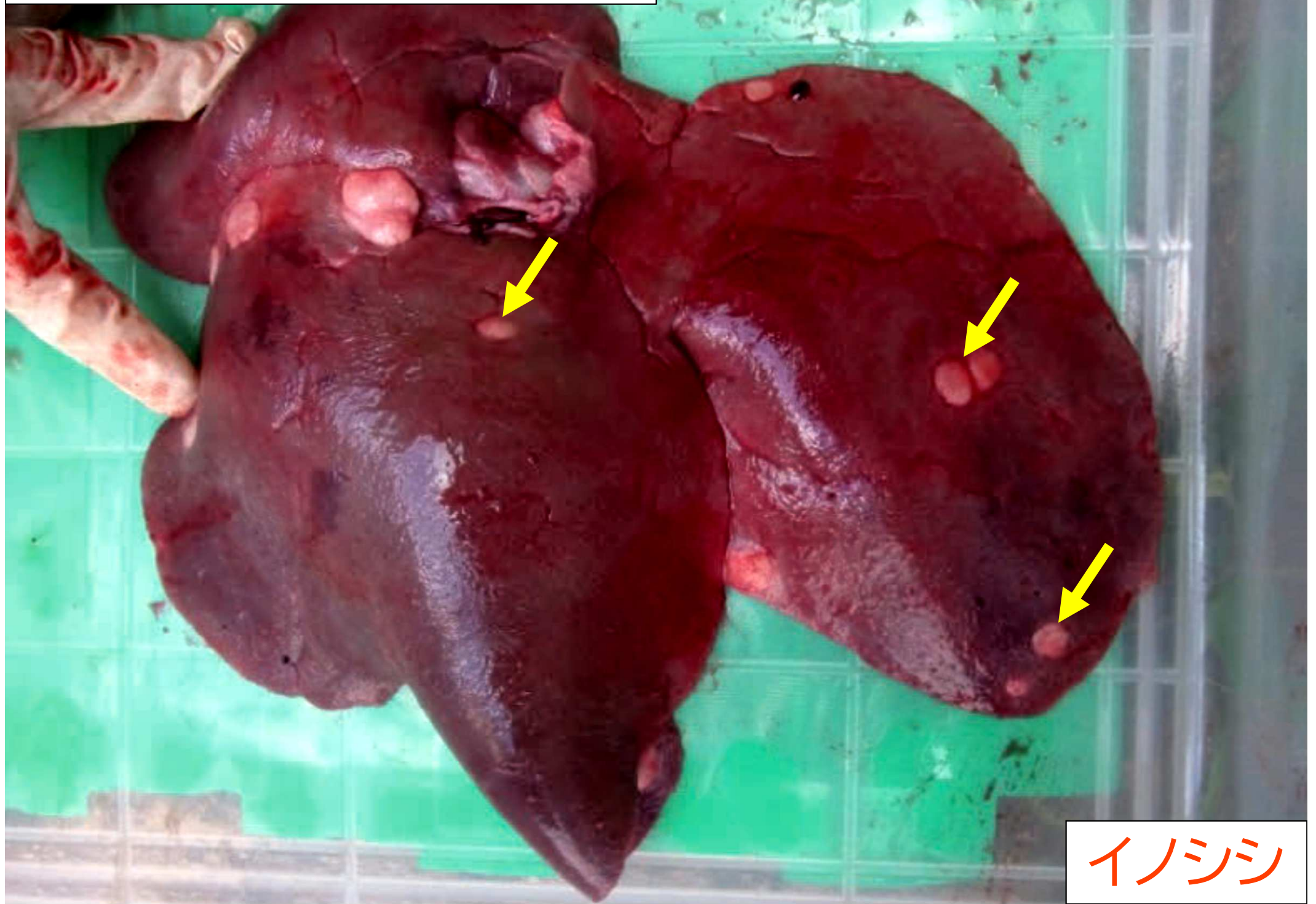
ウシ

結節状の変色部(抗酸菌症)



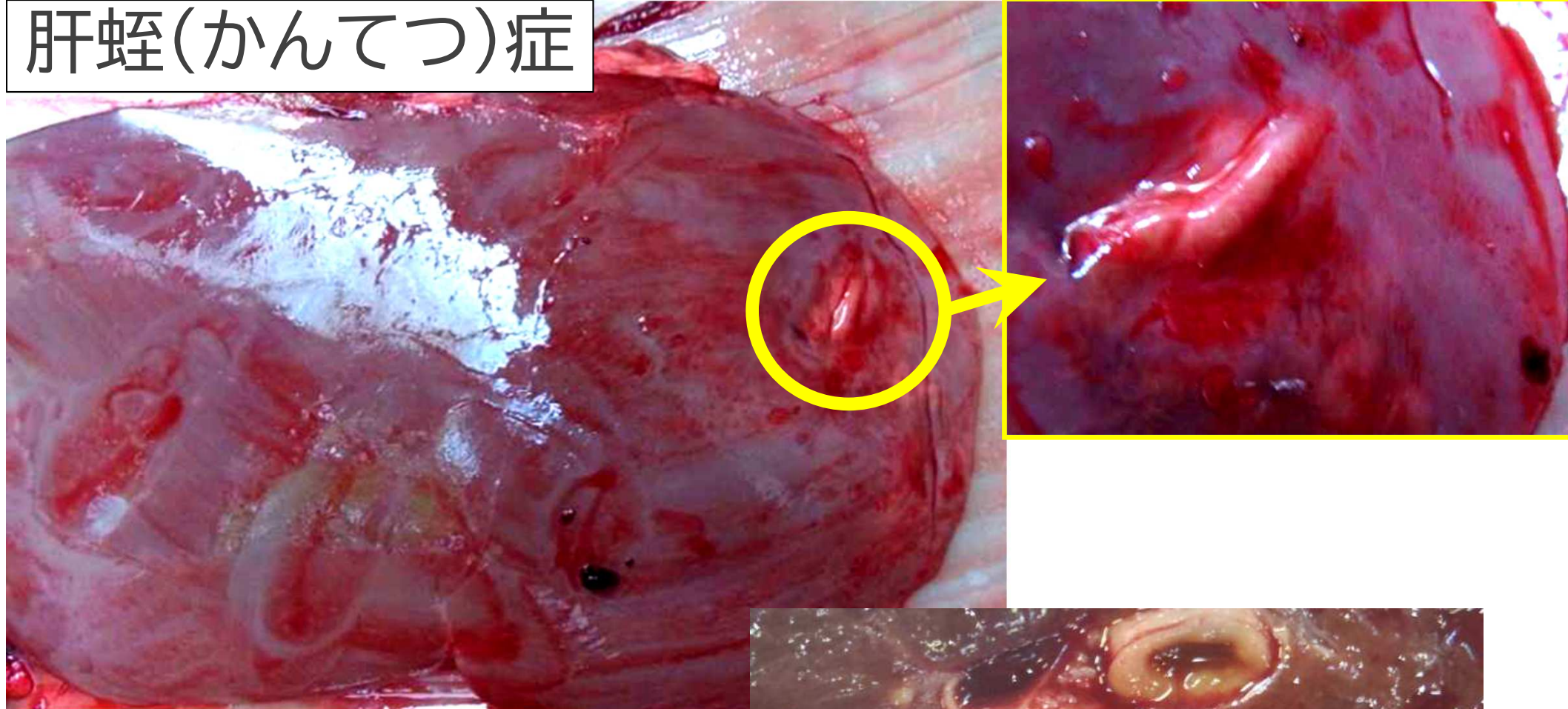
ブタ

巣状の変色部(肝蛭症)

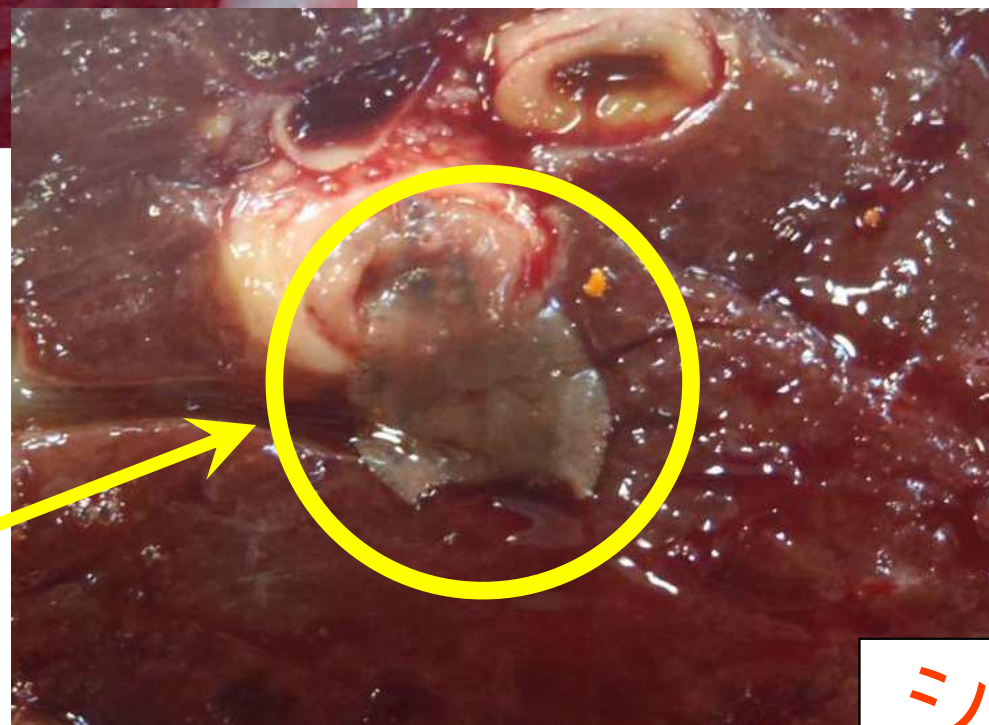


イノシシ

肝蛭(かんてつ)症

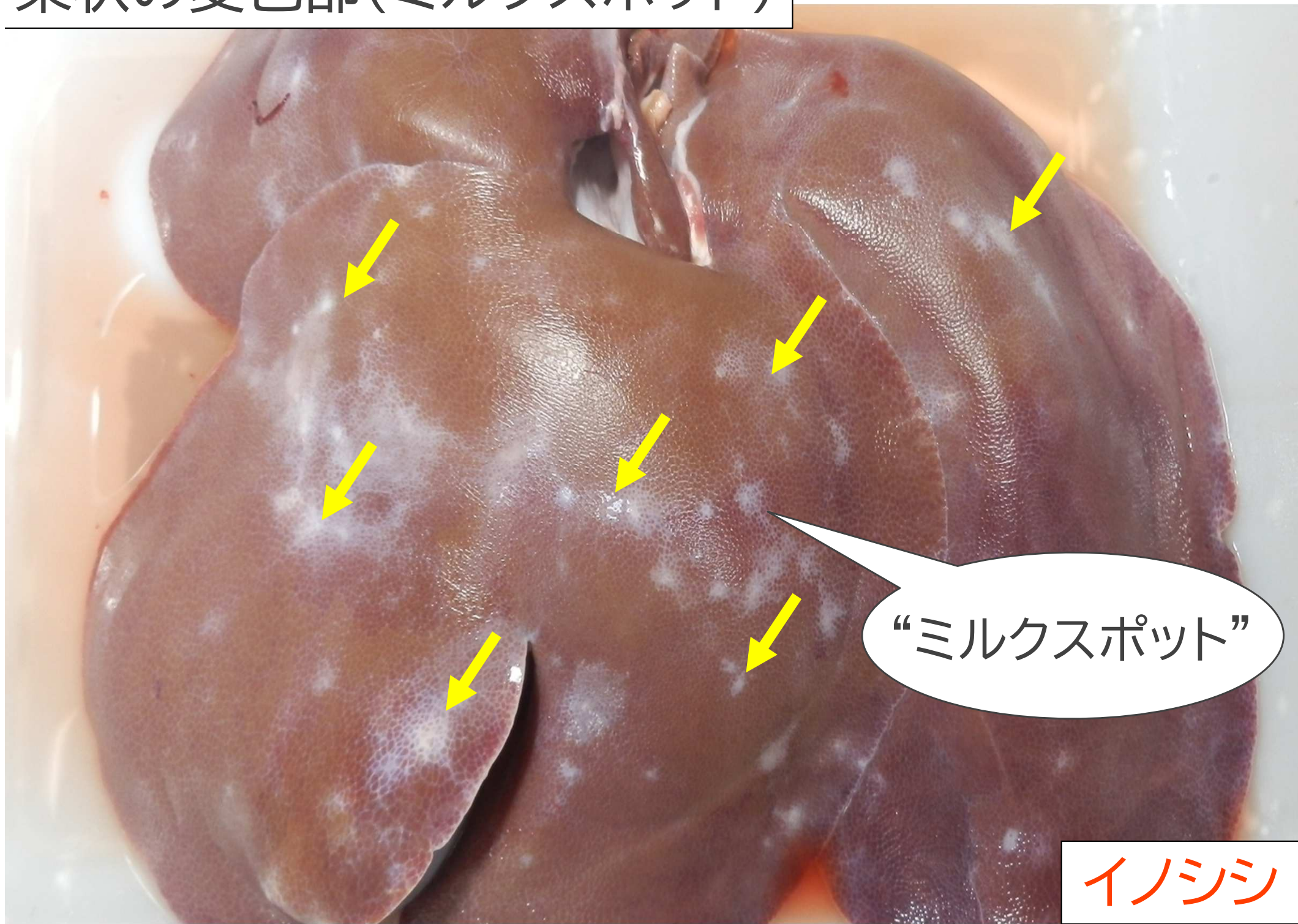


肝蛭(かんてつ)



シカ

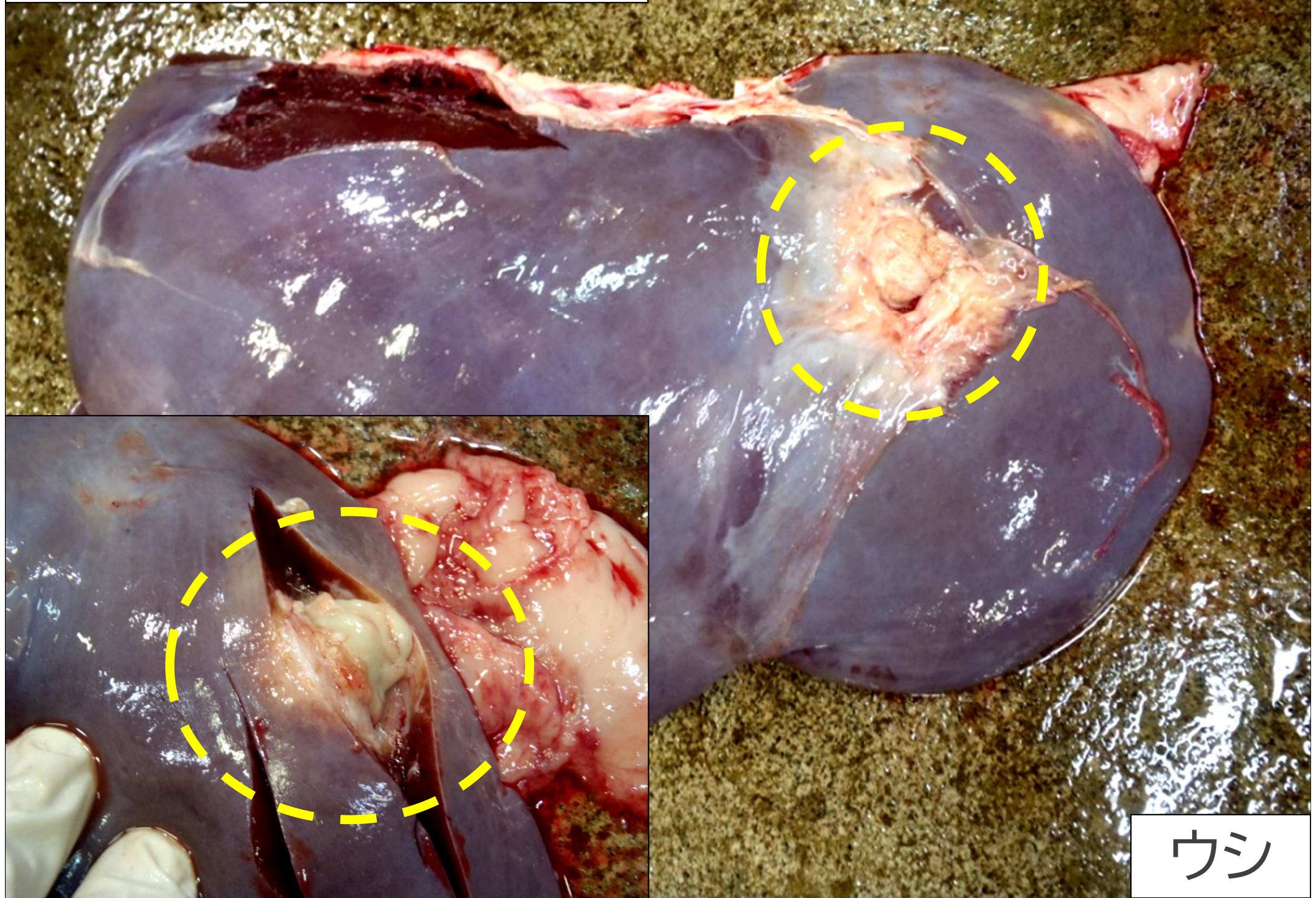
巣状の変色部(ミルクスポット)



“ミルクスポット”

イノシシ

巣状の変色部(肝膿瘍)



ウシ

内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

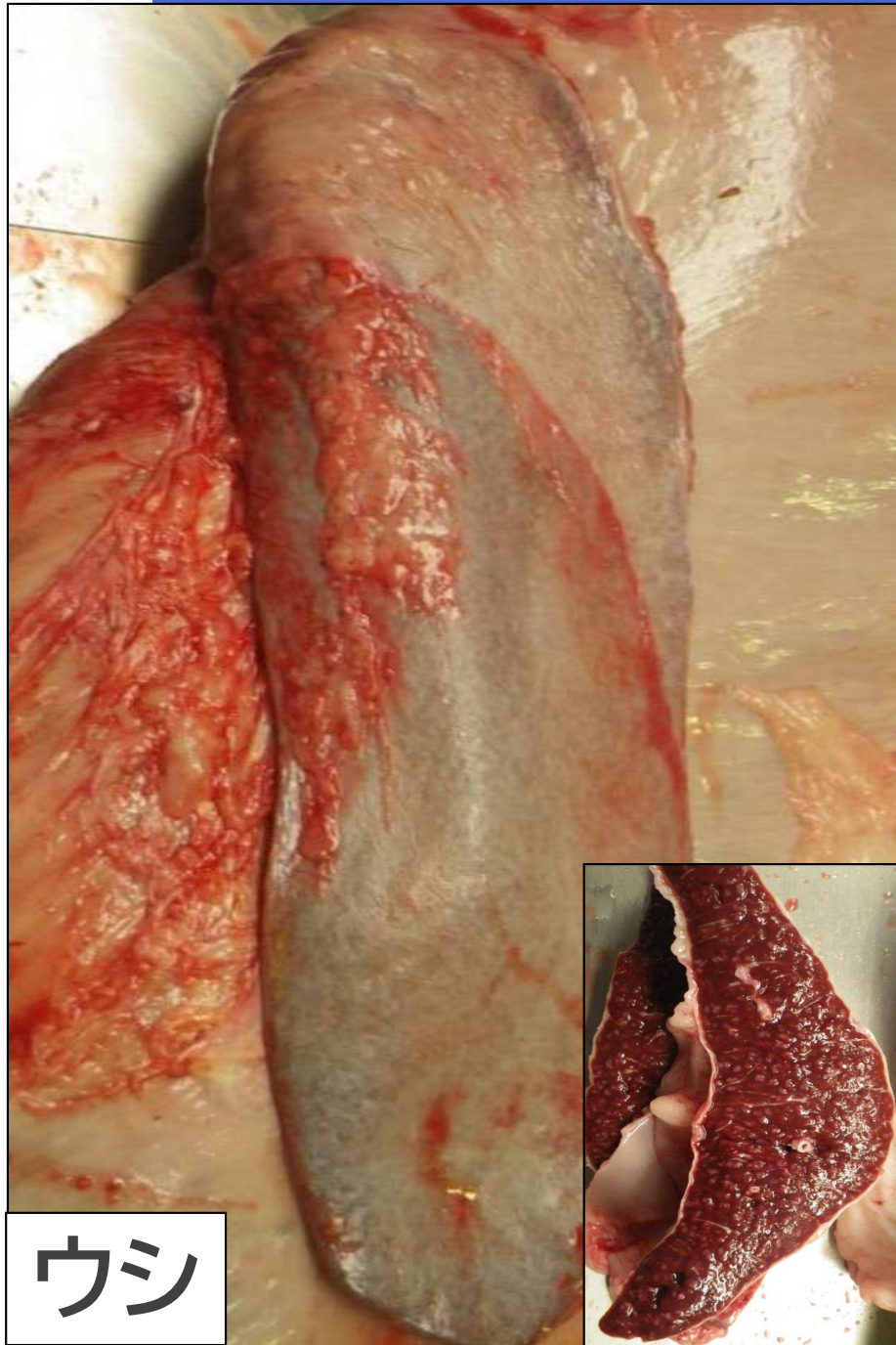
脾臓について

【確認すべき事項】

- ① 表面が滑らかであること
腫瘍(膿瘍、腫瘍など)がないこと
- ② 色に異常がないこと
出血していないこと
- ③ 形、大きさに異常がないこと

【異常】 腫大、結節状の変色など

正常な脾臓



正常な脾臓



シカ

内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
判定結果	適・不適	【備考】	

内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
判定結果	適・不適	【備考】	

胃・腸について

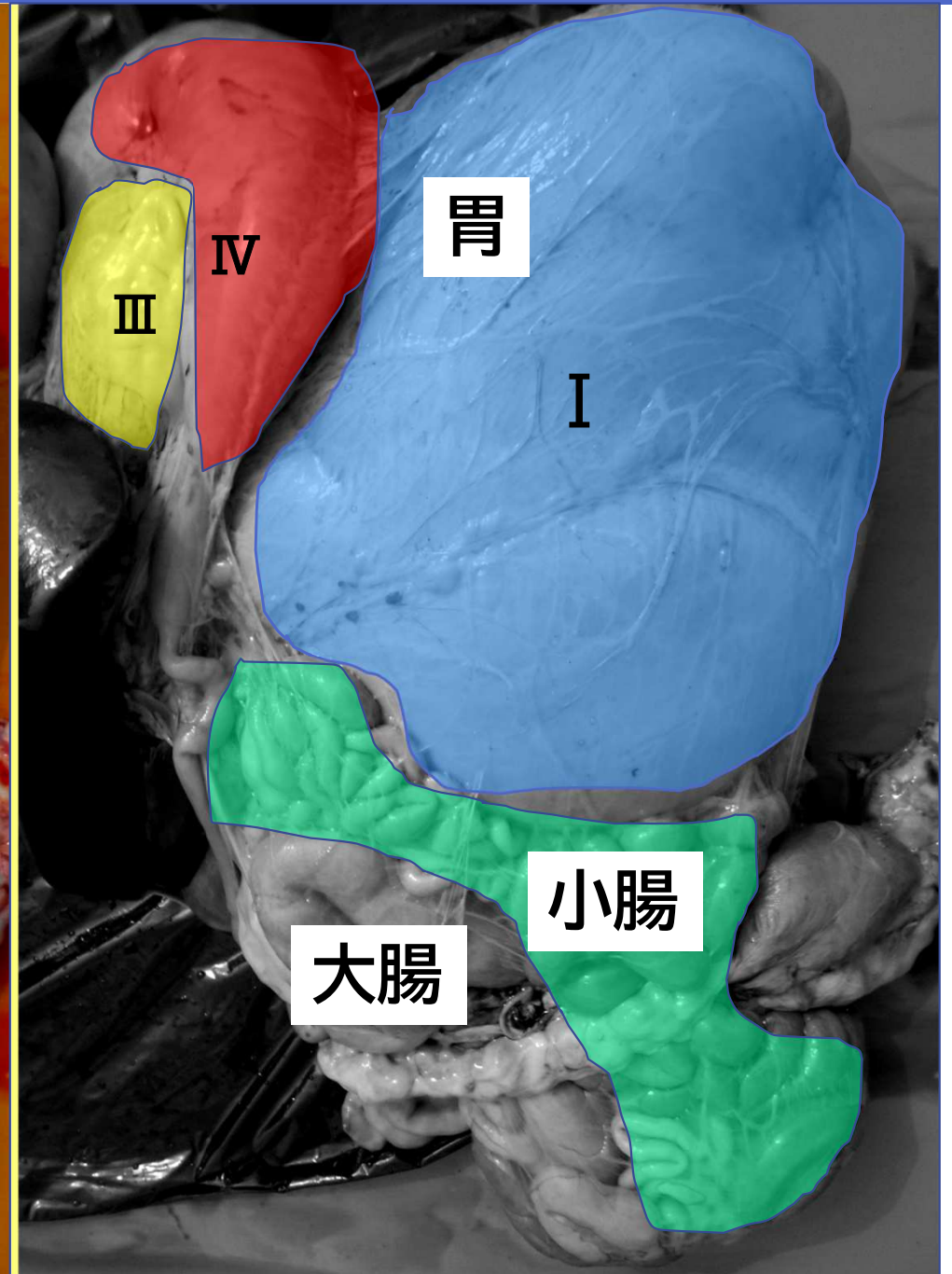
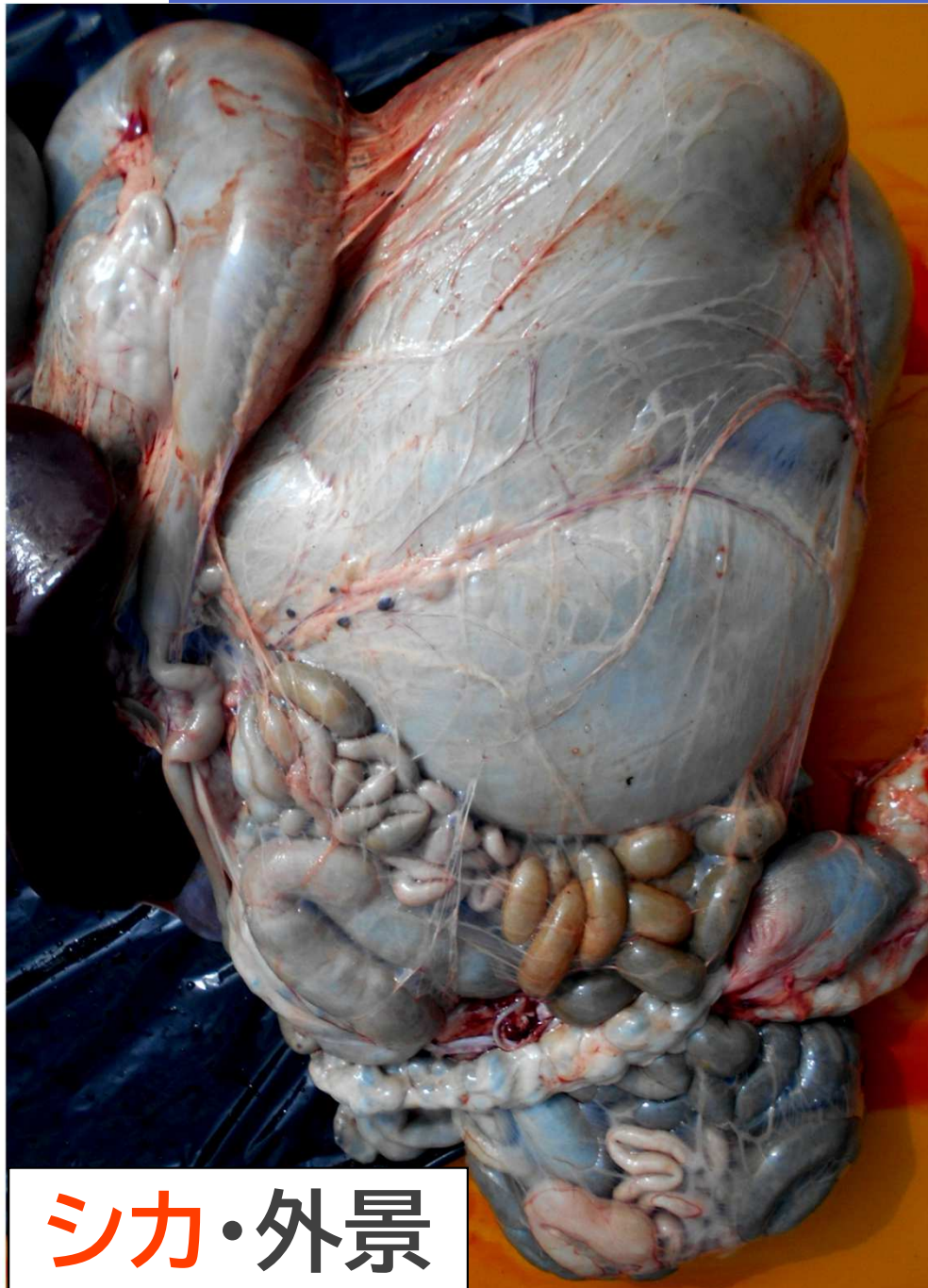
【確認すべき事項】

- ① 他の内臓等と癒着していないこと
- ② リンパ節が腫れていないこと
- ③ 表面が滑らかなこと
外側に線維素が付着していないこと
- ④ 色に異常がないこと
出血していないこと
- ⑤ 形、大きさに異常がないこと
腸の一部が厚くなったり薄くなったりしていないこと

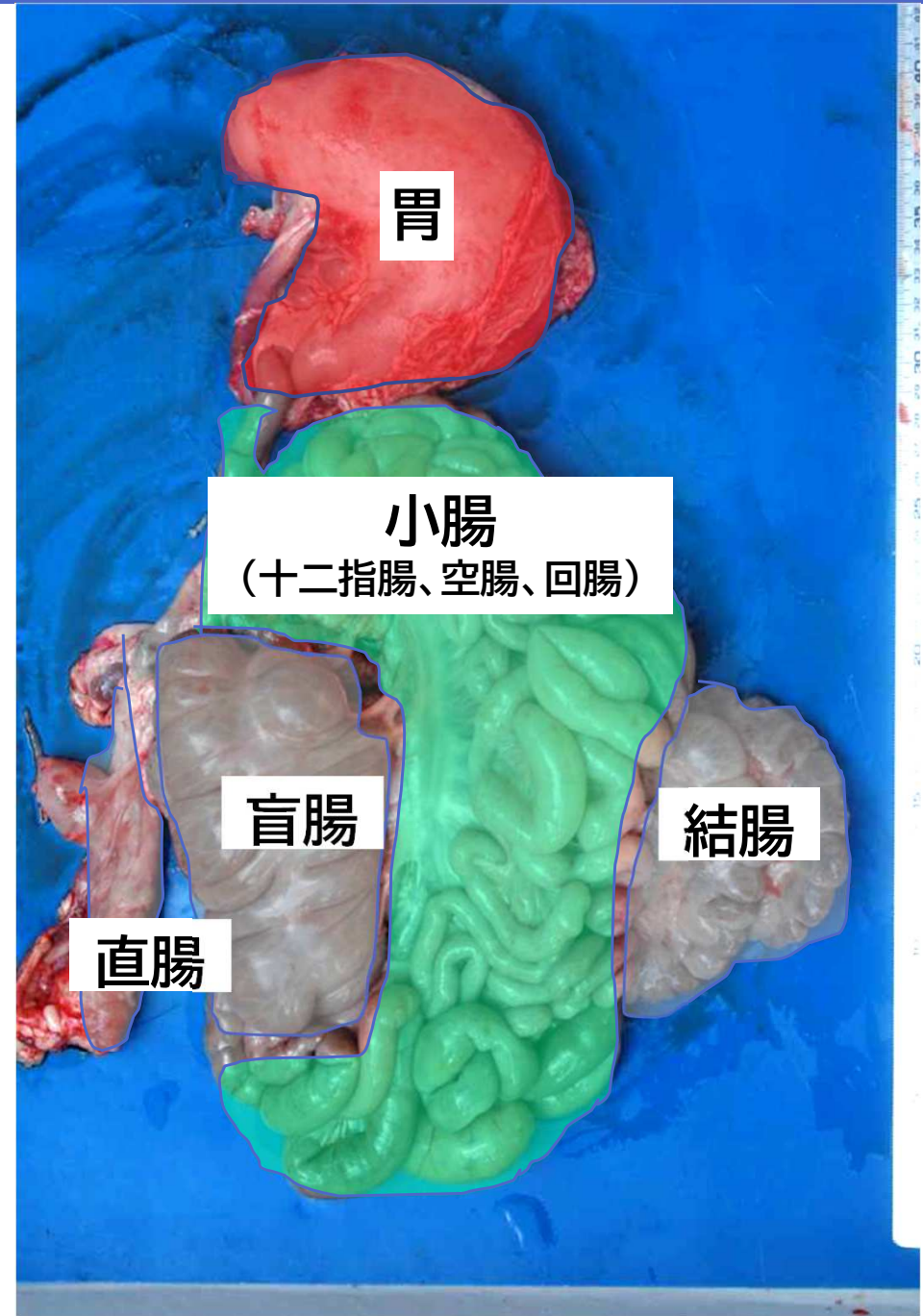
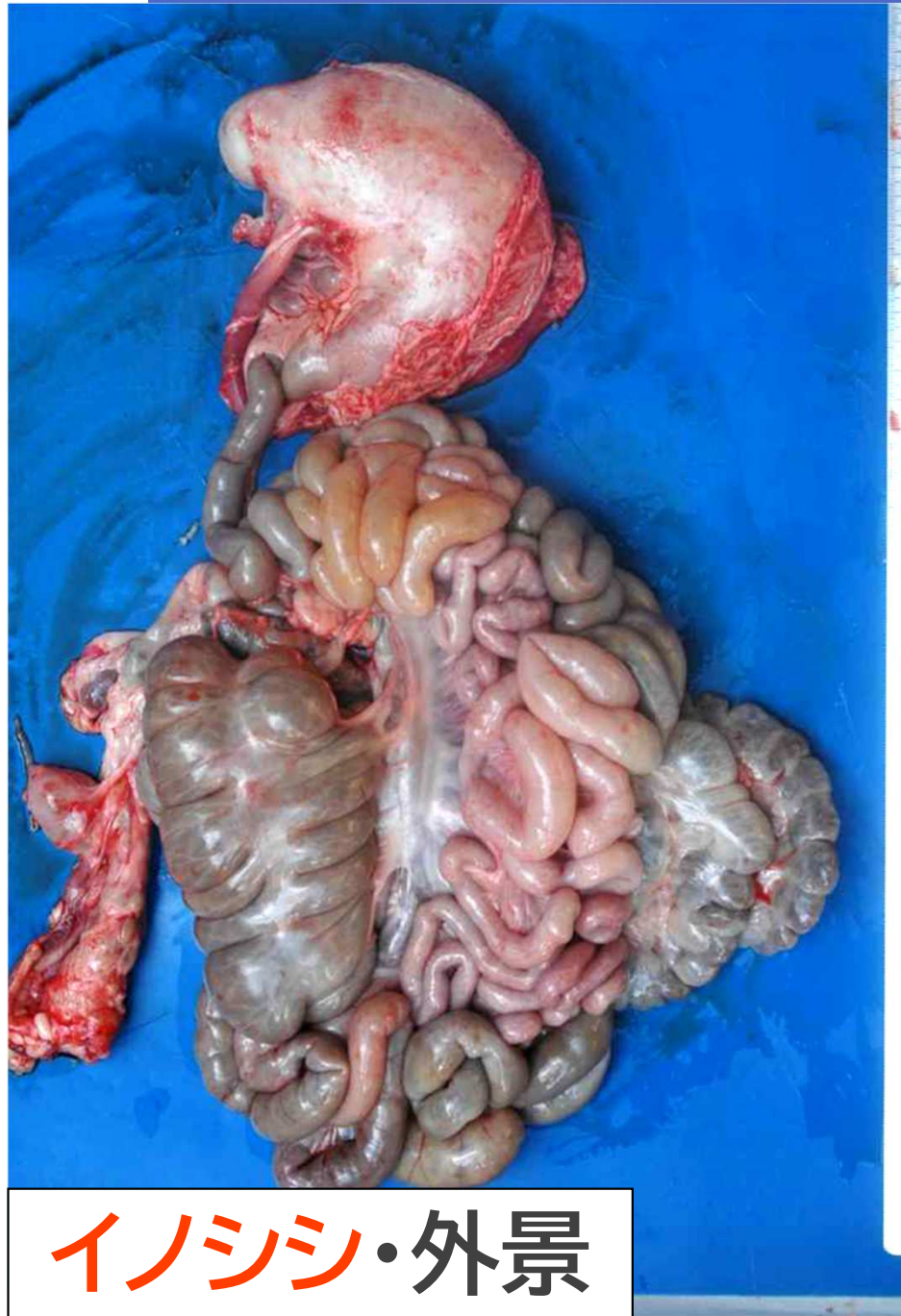
【異常】

粘膜の肥厚、出血斑、潰瘍・びらん、寄生虫感染など

正常な胃・腸



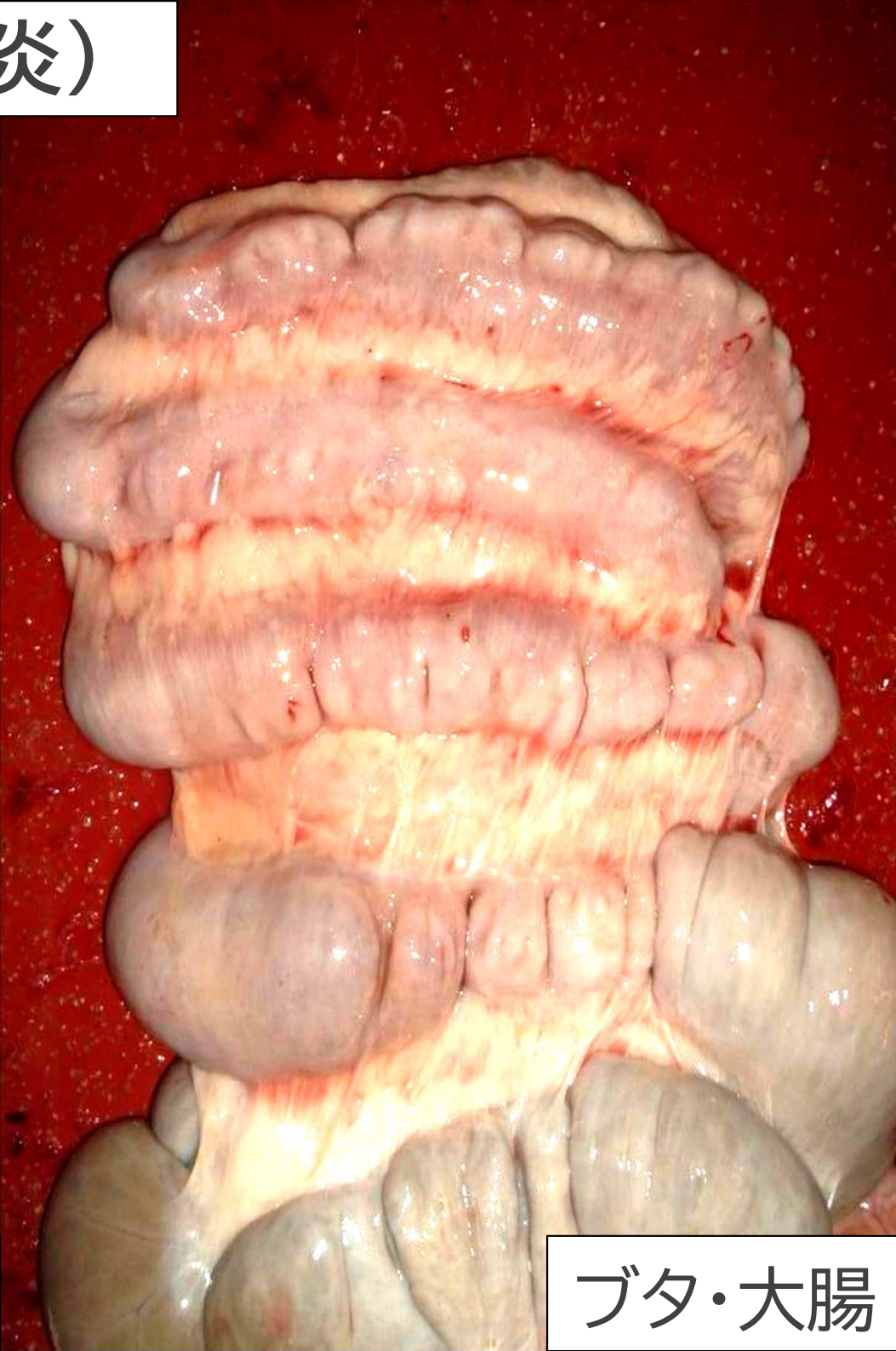
正常な胃・腸（イノシシ・外景）



粘膜の肥厚、出血斑(腸炎)



ウシ・小腸



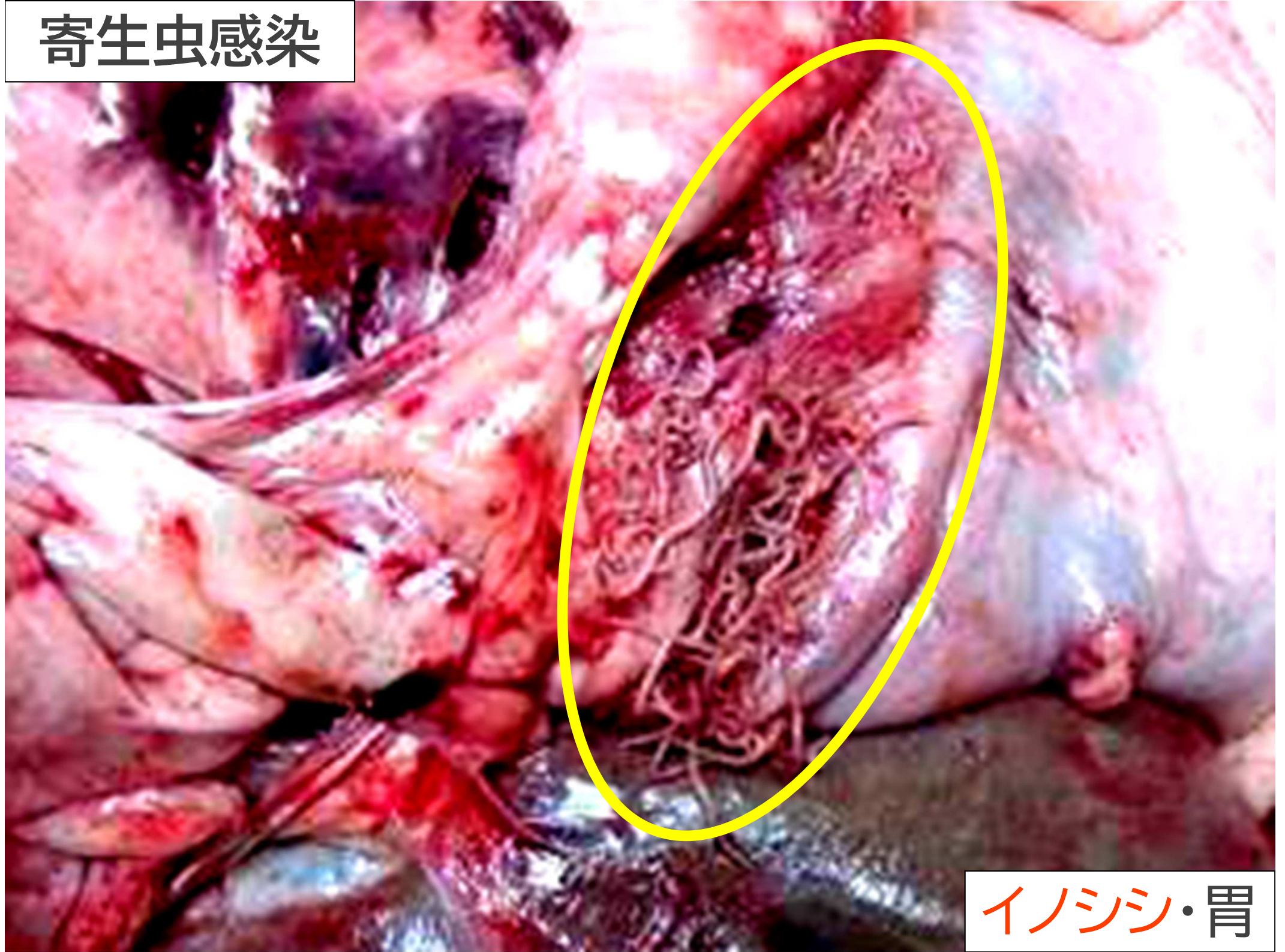
ブタ・大腸

出血、びらん(胃炎)



イノシシ・胃

寄生虫感染



イノシシ・胃

寄生虫感染(回虫)



イノシシ・小腸

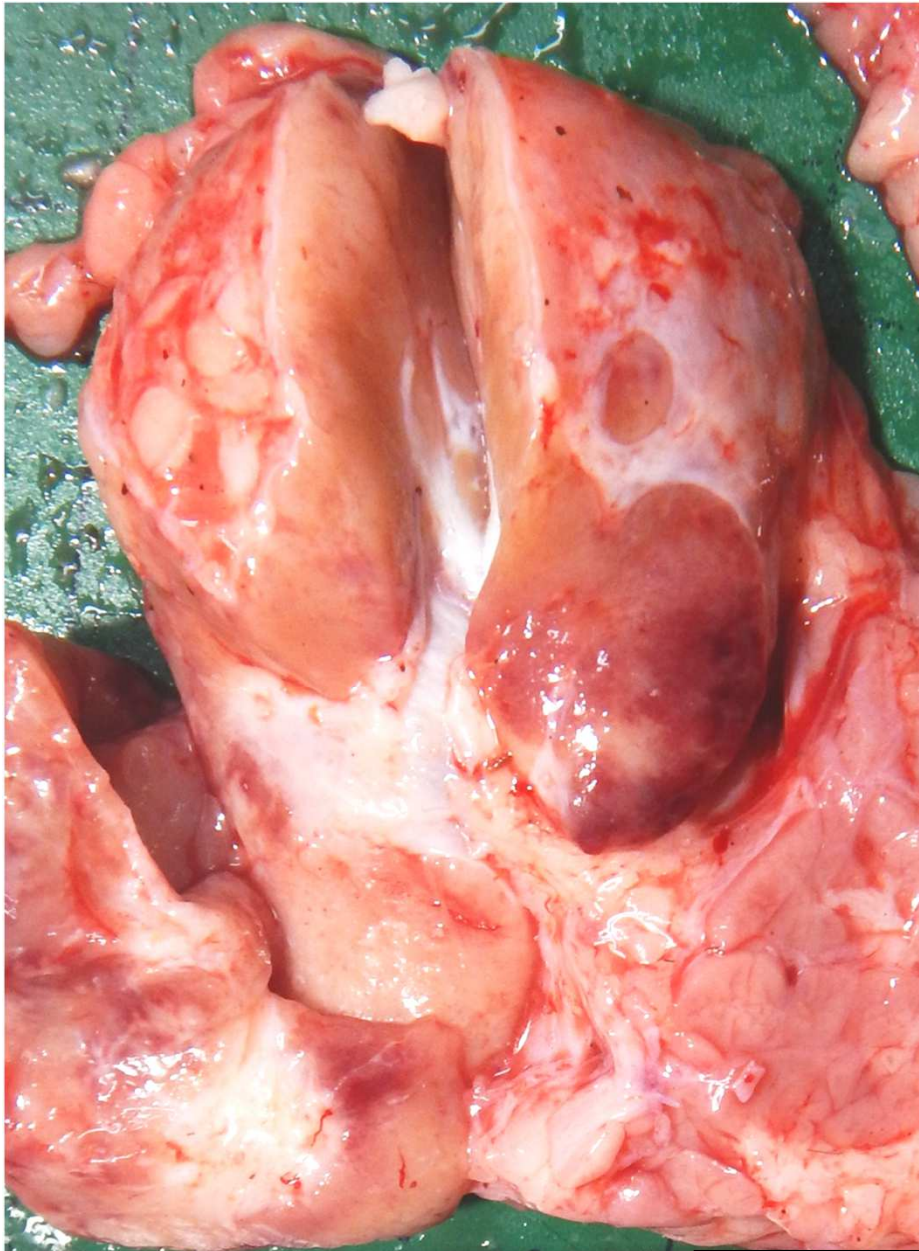
リンパ節について

【確認すべき事項】

- ① 色に異常がないこと
- ② 形、大きさに異常がないこと
大きかったり小さかったりしないこと
腫瘍(膿瘍、腫瘍等)がないこと

【異常】 腫大など

正常なリンパ節



ウシ



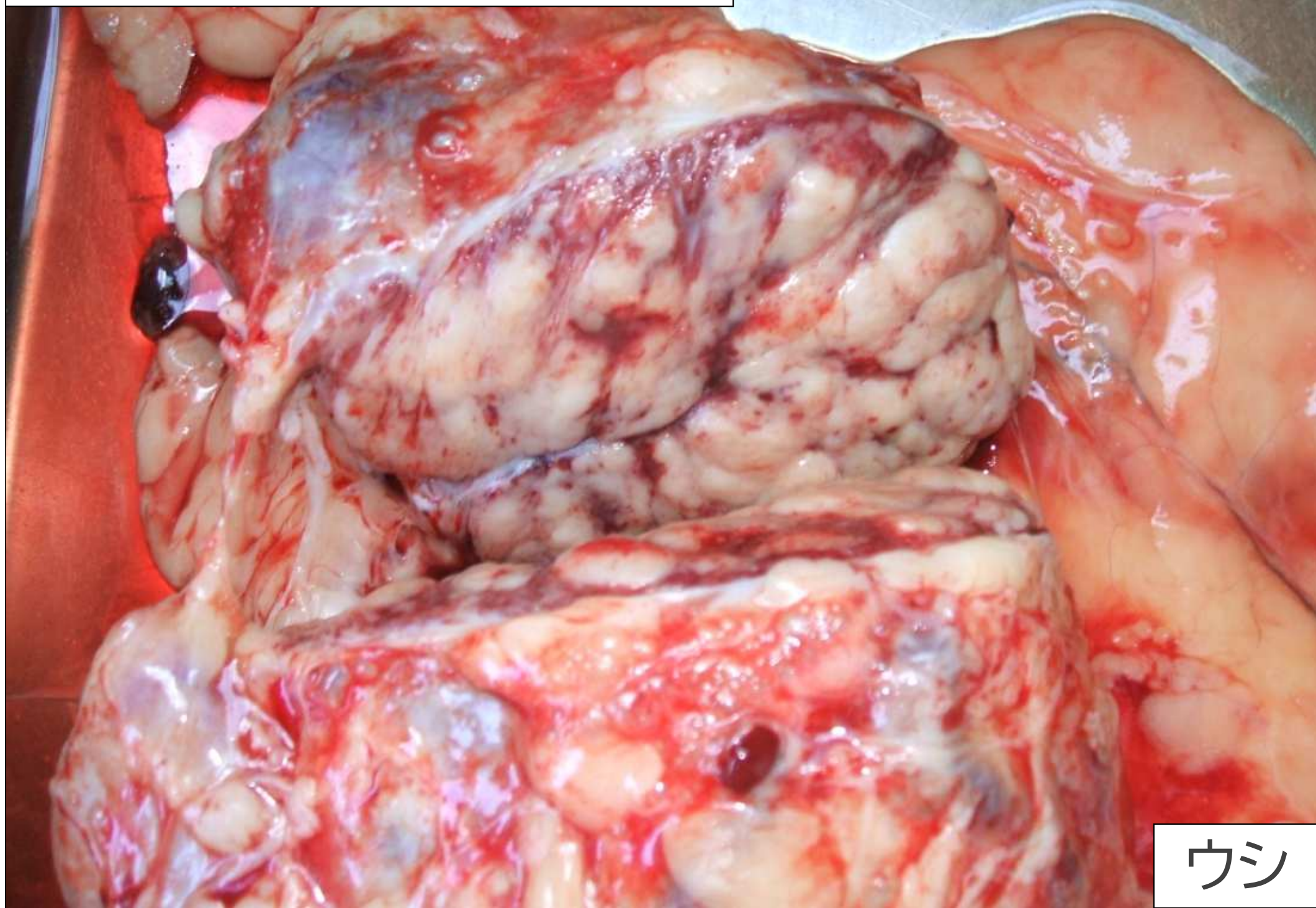
ブタ

腫大(炎症)



シカ

腫大(牛伝染性リンパ腫)



ウシ

内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
判定結果	適・不適	【備考】	

腎臓について

【確認すべき事項】

- ① 表面が滑らかであること
腫瘍(膿瘍、腫瘍等)、のう胞がないこと
- ② 色に異常がないこと
出血していないこと、白色の病変がないこと
- ③ 形、大きさに異常がないこと
大きかったり小さかったりしないこと
硬かったり軟らかかったりしないこと

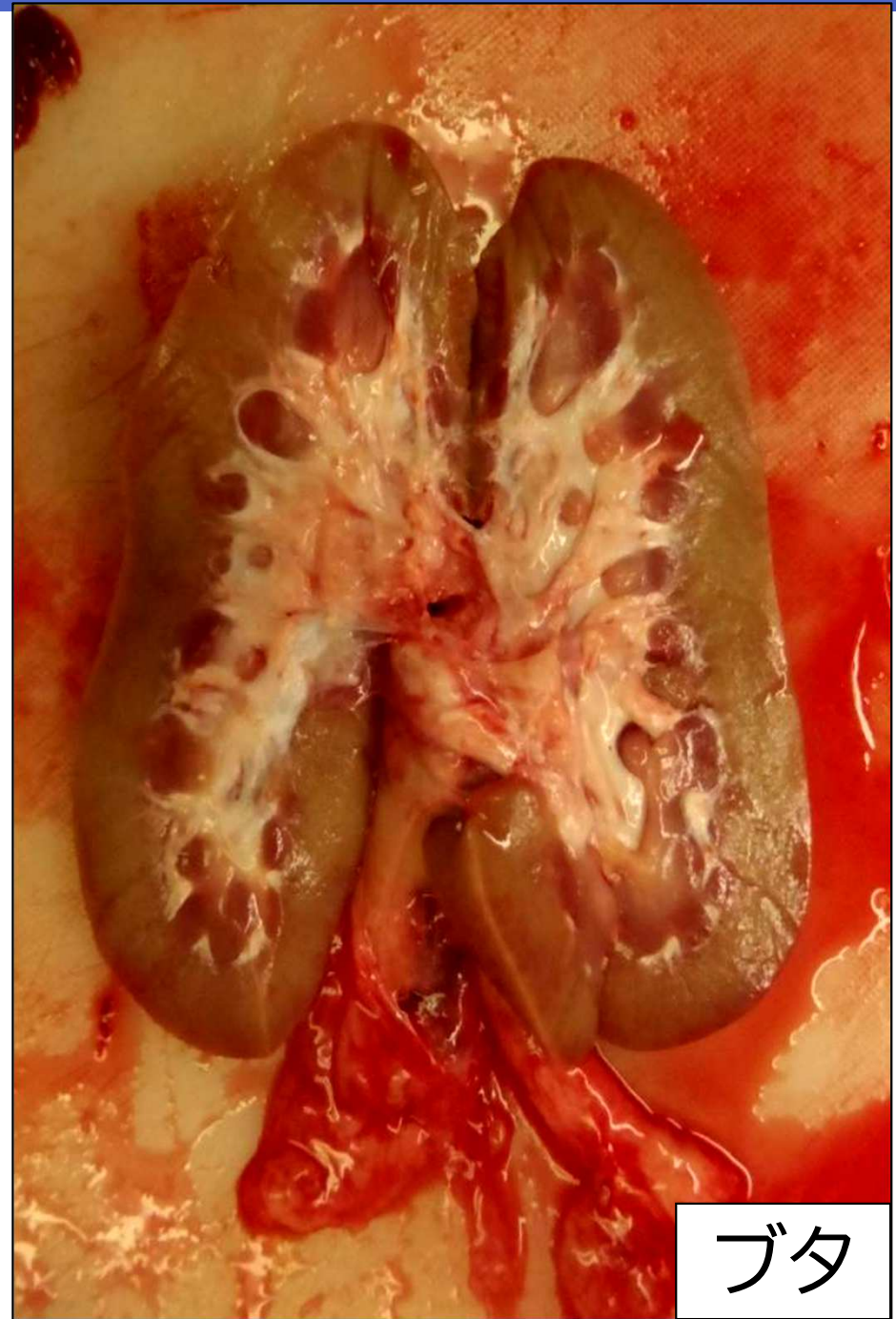
【異常】

腫大、出血斑、炎症などの変色部(白斑)など

正常な腎臓



ブタ



ブタ

正常な腎臓



イノシシ

出血、腫大、褪色

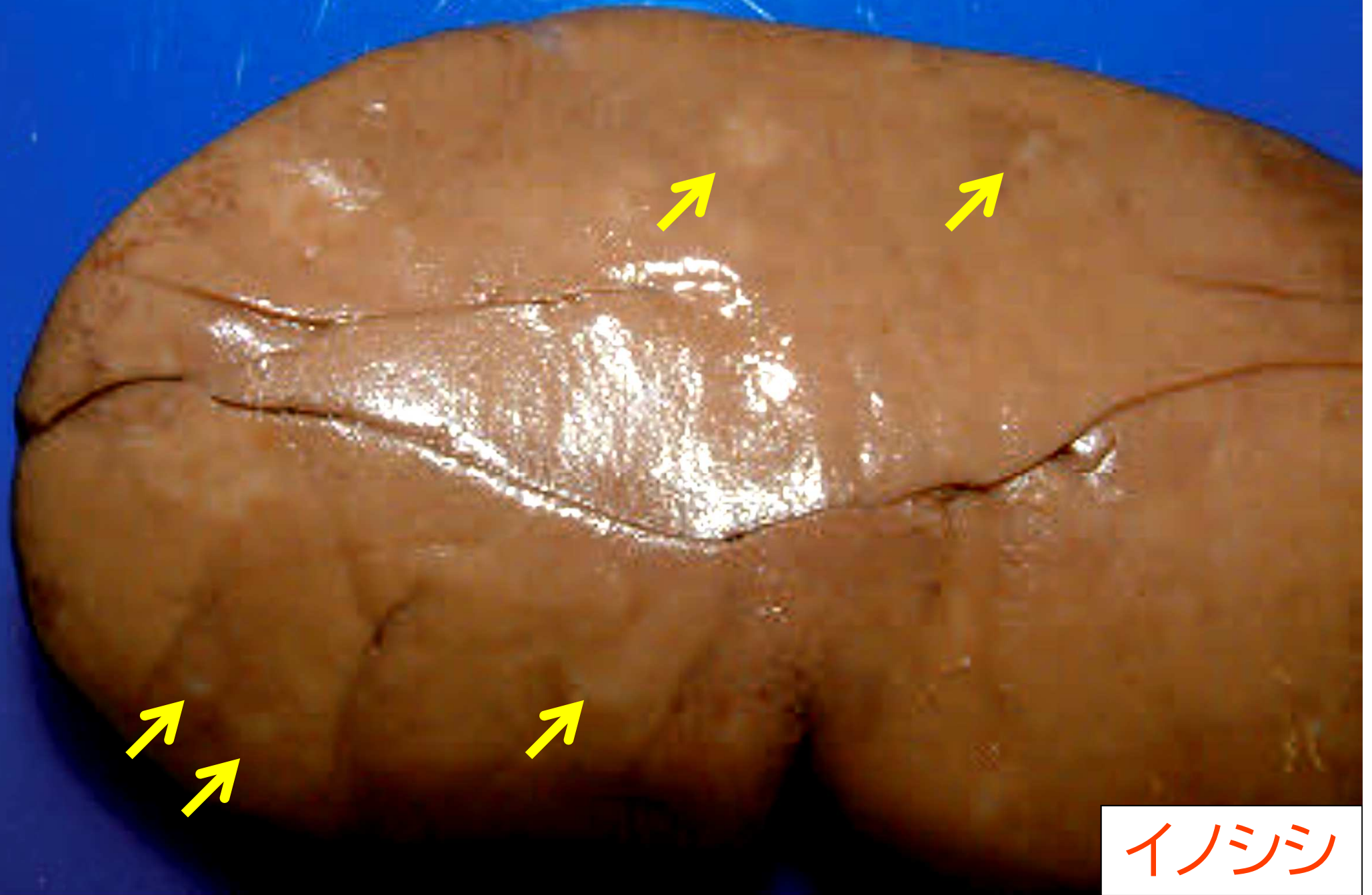
異常

正常



ブタ

炎症性の変色部(白斑)



イノシシ

内臓の異常（確認記録表）

内臓摘出時確認	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか		ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか		ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか		ある・ない・不明
	多量の胸水、腹水はないか		ある・ない・不明
	胃、小腸粘膜の肥厚又は菲薄化、潰瘍、出血斑はないか		ある・ない・不明
	腎臓の腫大、梗塞性の変色部(壊死斑)、出血斑はないか		ある・ない・不明
	著しい黄疸はないか		ある・ない・不明
	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

その他の異常

- ① 著しい黄疸
- ② 多臓器にわたる水腫及び膿瘍
- ③ 多臓器又は全身にわたる腫瘍
- ④ 全身性の寄生虫症



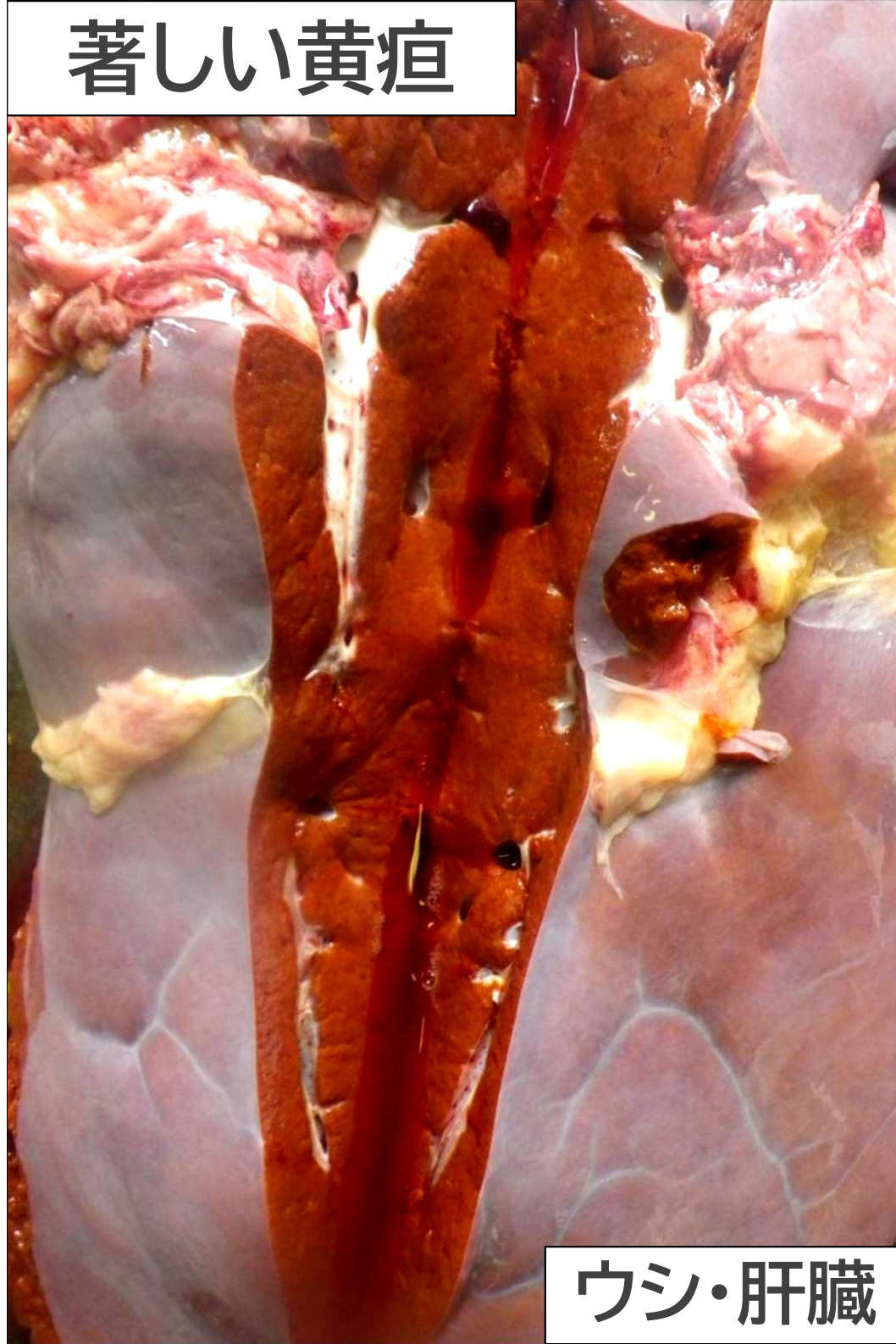
内臓・枝肉すべて廃棄

著しい黄疸



ウシ・全身

著しい黄疸

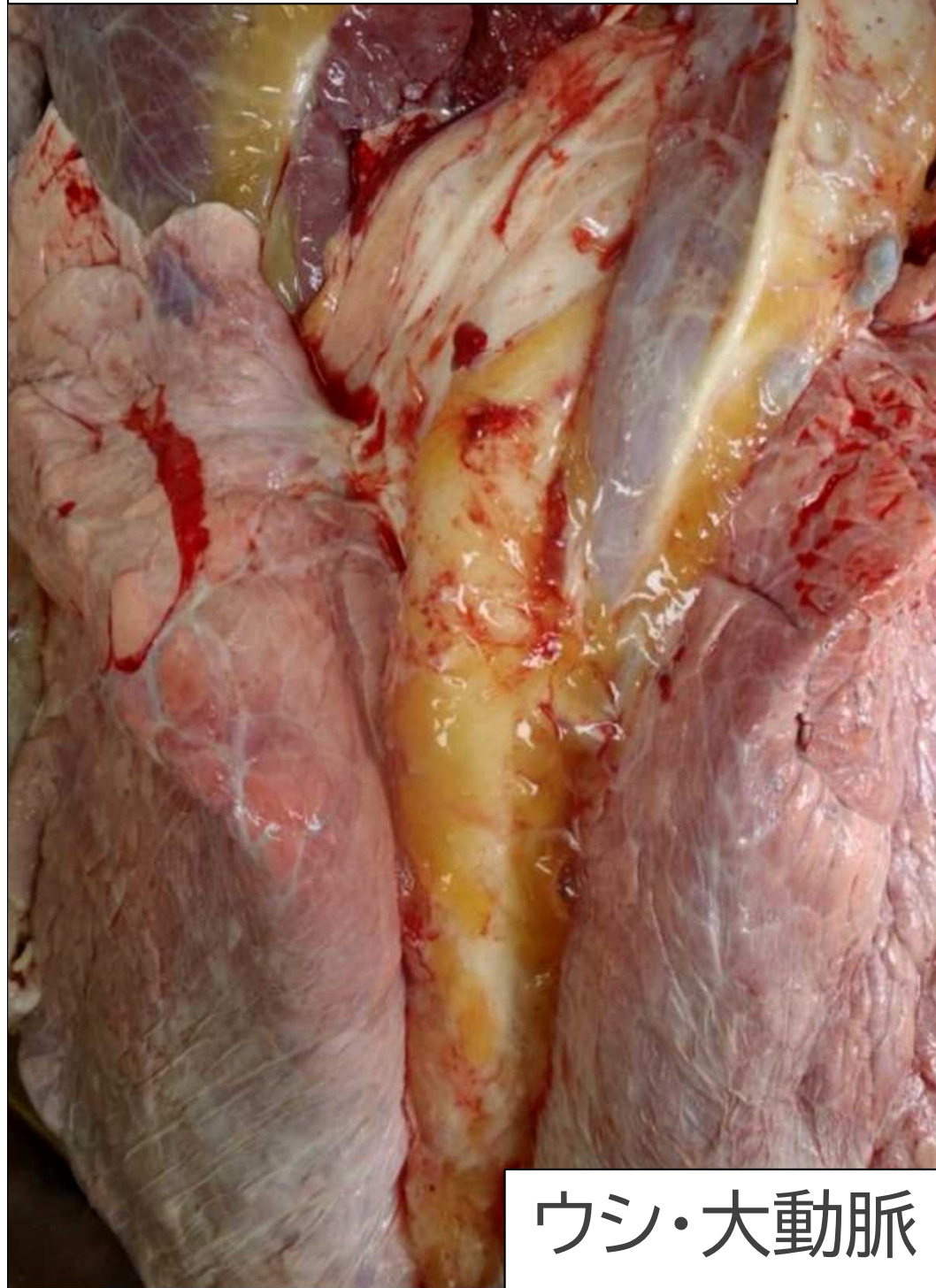


ウシ・肝臓



ウシ・靱帯

多臓器にわたる水腫



ウシ・大動脈

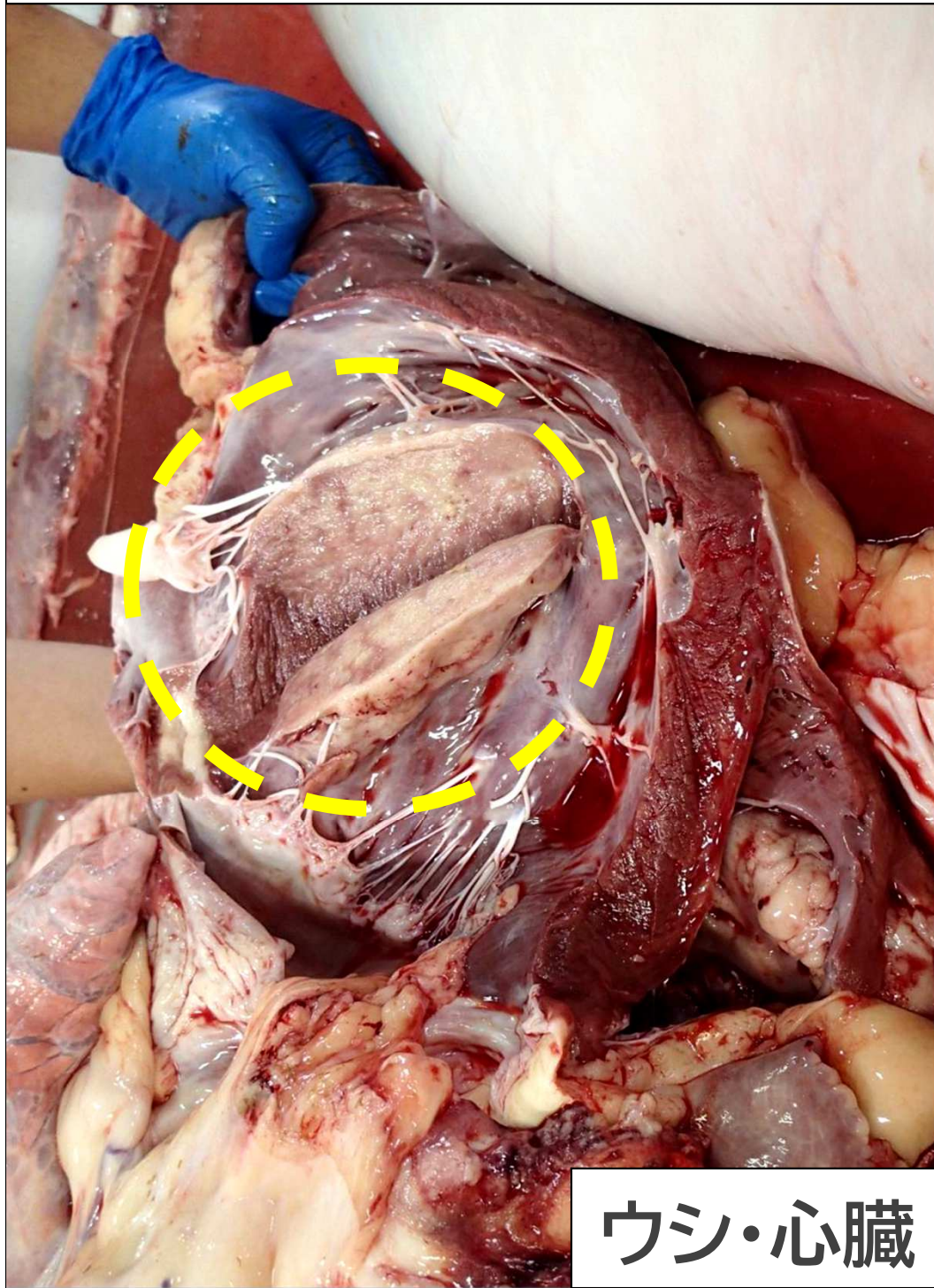


ウシ・脂肪

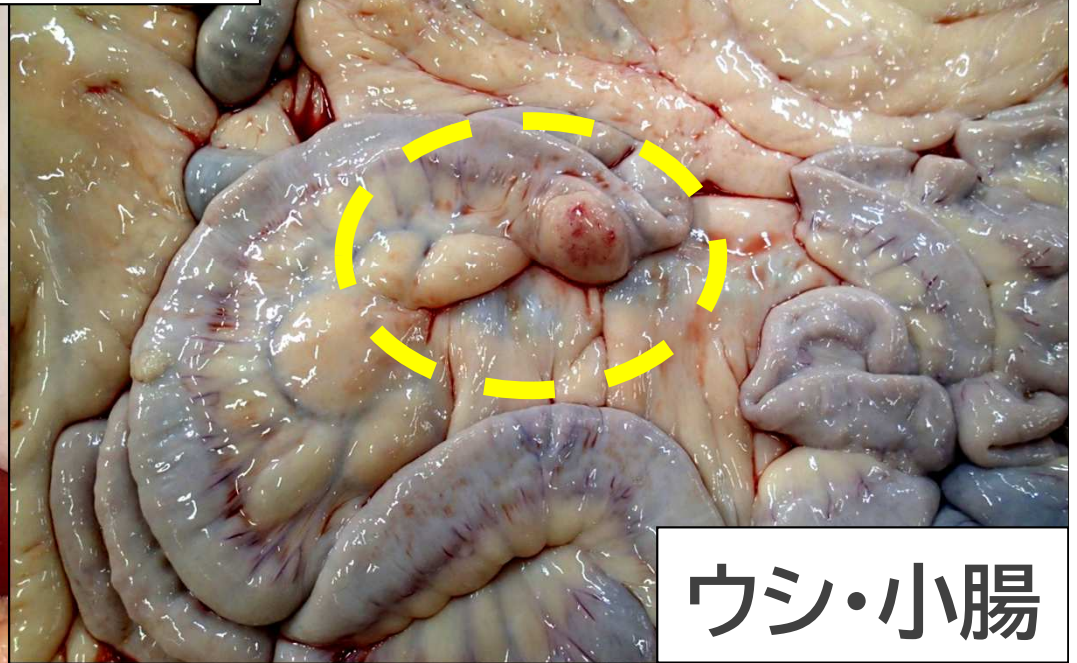


ウシ・筋肉

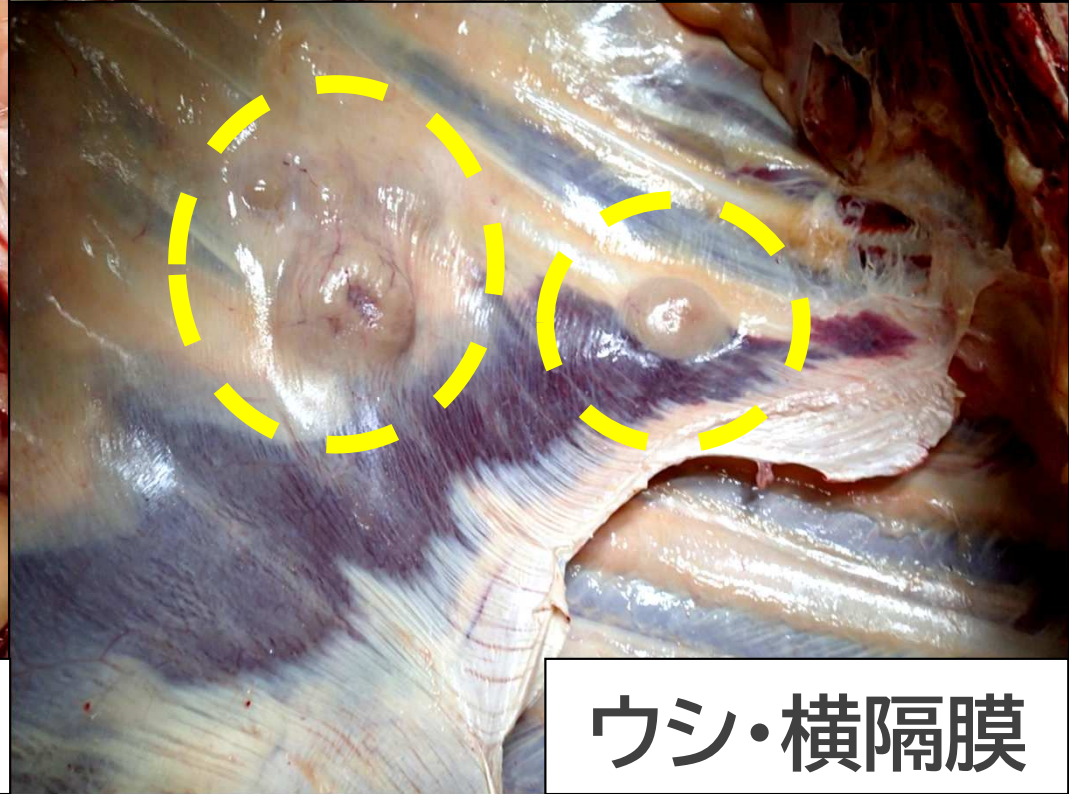
多臓器又は全身にわたる腫瘍



ウシ・心臓



ウシ・小腸



ウシ・横隔膜

講義内容

1. 野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方
2. とさつ・解体前に見つかる異常
3. 解体中に見つかる臓器の異常
4. イノシシ等の代表的な病気
5. まとめ

イノシシ等の代表的な病気

① 人獣共通感染症

炭疽、結核、豚丹毒、ブルセラ病、
レプトスピラ症、様々な寄生虫病 等

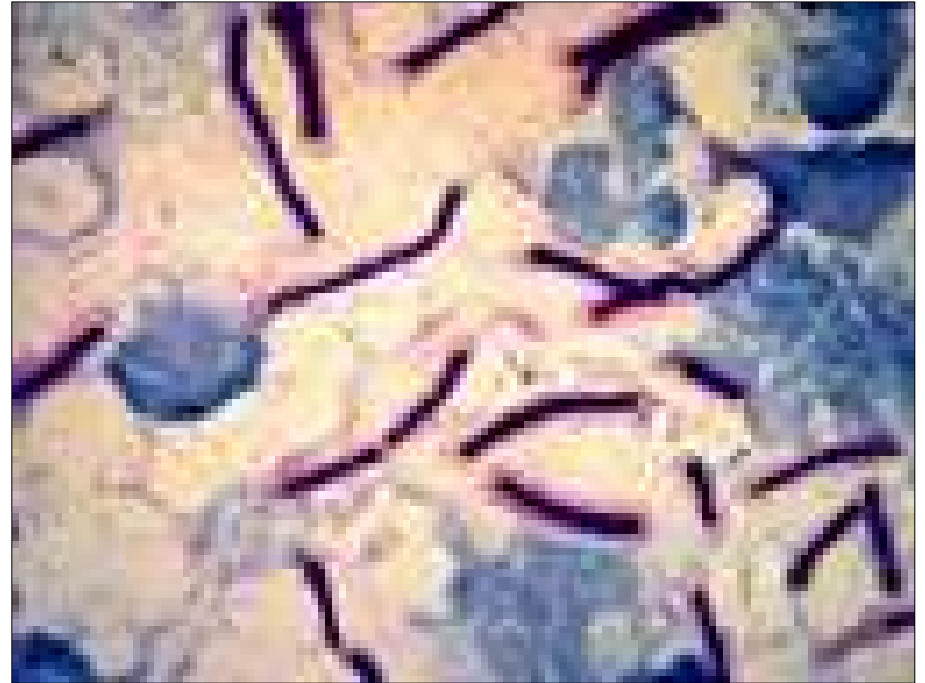
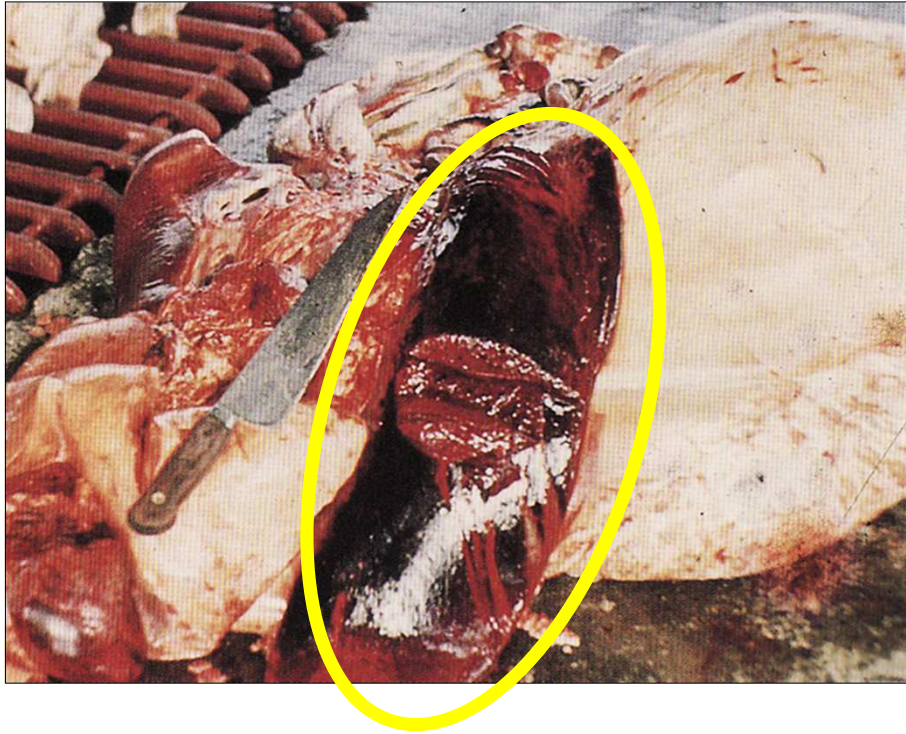
※肉眼的な病変のない病気：

E型肝炎、日本脳炎 等

② 家畜における重要な感染症

口蹄疫、豚熱、オーエスキー病、
豚流行性下痢 等

炭疽



原因：炭疽菌

症状：鼻、肛門などから黒色の出血（固まりにくい）

解剖所見：脾臓の腫大、腸間膜の充出血。

炭疽（ヒトの症状）



獣医感染症カラーアトラス:文永堂出版



国立感染症研究所ホームページ

炭疽にかかった動物との接触により感染

- 皮膚炭疽

傷口から感染。死亡率低い

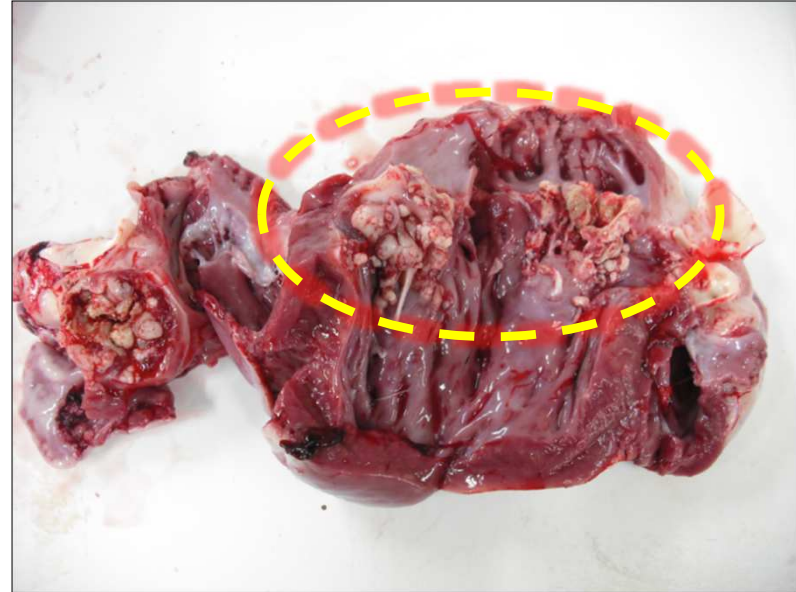
- 腸炭疽

病肉を食べることで感染
食中毒症状から始まり、吐血や
血便も。25～50%が死亡

- 肺炭疽

非常に重篤な肺炎から
全身症状へ。死亡率高い

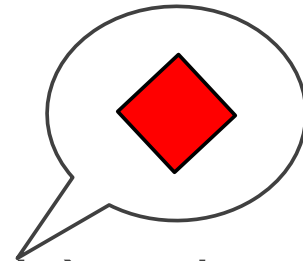
豚丹毒



原因：豚丹毒菌

症状：ひし形の蕁麻疹(菱形疹)、膝関節の腫脹

内臓所見：心臓、胃腸、脾臓の出血、心内膜炎 等



豚丹毒（ヒトの症状）



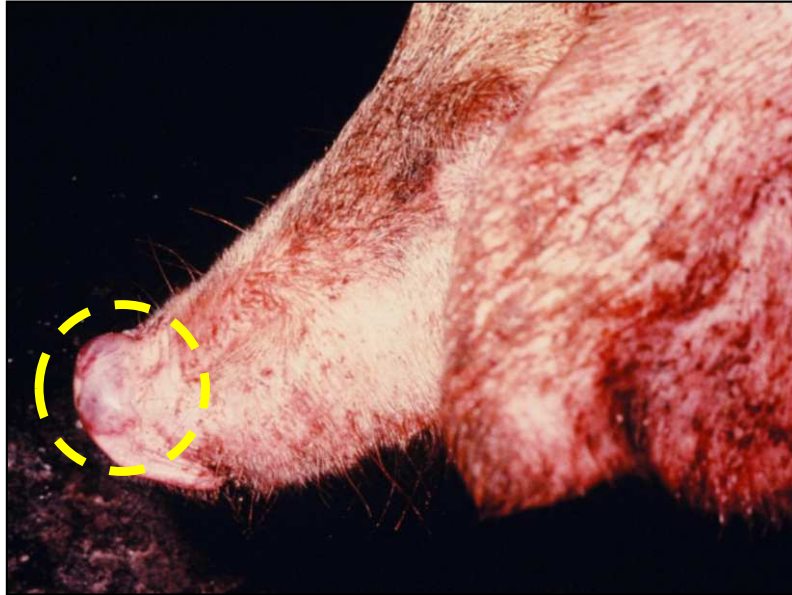
獣医感染症カラーアトラス:文永堂出版



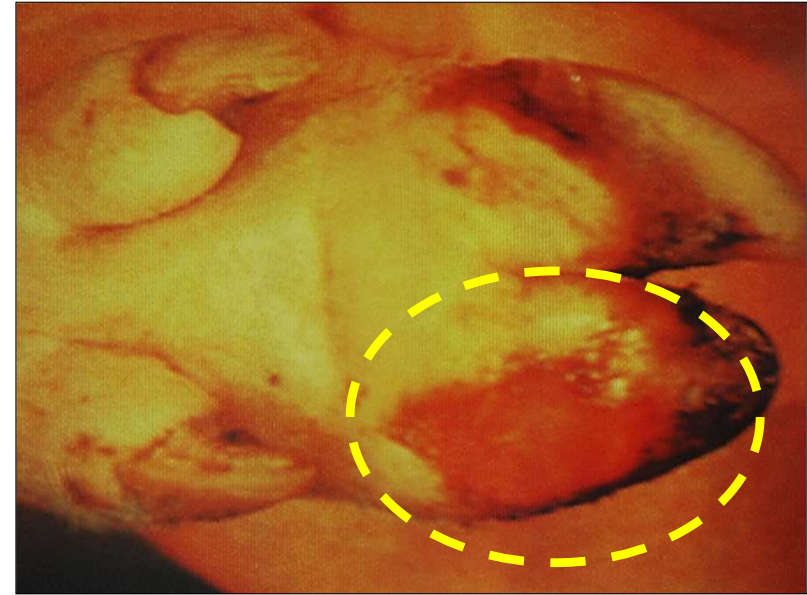
豚丹毒菌をもった動物(ブタなど)との接触により感染

- ・傷口から豚丹毒菌が感染
- ・感染部の発赤、腫脹
- ・発熱や疼痛を伴うことも
- ・ごくまれに心内膜炎、敗血症

口蹄疫



(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所ホームページ



獣医感染症カラーアトラス:文永堂出版

原因:口蹄疫ウイルス

症状:鼻、舌、蹄に水泡、びらん、潰瘍

内臓所見:心筋の壊死

イノシシやシカは感染するが、ヒトは感染しない
産業動物(牛・豚)での影響大

慢性消耗病（CWD）

＜＜原因＞＞

昔は「狂牛病」と呼ばれていました

異常プリオン(牛海綿状脳症(BSE)と同じ種類の病気)

※普通に加熱しても効果はない。

＜＜シカの症状＞＞

体重減少、同じところを繰り返し歩行、過剰な飲水・排尿、
嚥下困難

＜＜人への感染＞＞

今までに人に感染したという証拠はない。

CWDが確認されたのは北アメリカのみで、日本では確認されていない。

講義内容

1. 野生動物の取り扱いに関する基本的な考え方
2. とさつ・解体前に見つかる異常
3. 解体中に見つかる臓器の異常
4. イノシシ等の代表的な病気
5. まとめ

まとめ

◎福岡県野生鳥獣食肉衛生管理ガイドライン

確認項目		確認結果
	高熱を呈していないか	ある・ない・不明
	腰が萎えている、旋回する等行動が異常でないか	ある・ない・不明
	歩き方や立ち方が異常でないか	ある・ない・不明
	異常な鼻漏・鼻汁、流涎、発咳は著しくないか	ある・ない・不明
	著しい脱毛はないか	ある・ない・不明

異常が見つかった場合は、
処理施設内に搬入せず、
食用にしない

	判定結果	適・不適	【備考】
解体前確認	体表に紫斑、うっ血、チアノーゼ等著しい変色部分はないか		ある・ない・不明
	著しい脱毛はないか		ある・ない・不明
	著しい消瘦はないか		ある・ない・不明
	顔面(鼻部)その他に奇形はないか		ある・ない・不明
	口腔、口唇、舌、乳房、蹄等に水疱やびらん、潰瘍等を多数形成していないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

まとめ

	心筋炎、心内膜炎(筋肉の変色、内膜のイボ状結節等)はないか	ある・ない・不明
	重度の肺炎、巣状の変色部(壊死斑)、硬結はないか	ある・ない・不明
	肝臓の腫大、うっ血、出血、結節状・巣状の変色部(壊死斑)はないか	ある・ない・不明
	脾臓の腫大、うっ血、結節状の変色部(壊死斑)はないか	ある・ない・不明

異常が見つかった場合は、
内臓は食用にしない

確認	多臓器にわたる水腫及び膿瘍はないか		ある・ない・不明
	多臓器又は全身性にわたる腫瘍はないか		ある・ない・不明
	全身性の寄生虫症はないか		ある・ない・不明
	判定結果	適・不適	【備考】

まとめ

食肉衛生のポイント

- ① 「病肉」は食用にしない
疾病の排除(狩猟時、食肉処理時)
衛生的な取り扱い
- ② 衛生的な処理をする
疑わしきは排除
感染症対策(狩猟者、食肉処理作業者)
- ③ 情報収集に努める

さいごに



各種異常を見つけ、
食用とするか迷われた場合は、
当所までご連絡ください

福岡県食肉衛生検査所

〒818-0072

福岡県筑紫野市二日市中央4-5-34

TEL : 092-923-6621